

平成21年度 第二学年シラバス

英 語	・ ・ ・ ・ ・	p 2	～	p 9
国 語	・ ・ ・ ・ ・	p 10	～	p 23
数 学	・ ・ ・ ・ ・	p 24	～	p 31
理 科	・ ・ ・ ・ ・	p 32	～	p 35
地歴公民	・ ・ ・ ・ ・	p 36	～	p 41
保健体育	・ ・ ・ ・ ・	p 42	～	p 49
芸 術	・ ・ ・ ・ ・	p 50	～	p 53



履修学年	2 年	履修コース	特進・選抜	履修条件	必 修	単位数	2
教 科	英 語			科 目	WRITING		
教科書 副教材	CROWN ENGLISH WRITING(三省堂) 『Crown English Writing Workbook ADVANCED』(三省堂)、 『基礎からの英語構文90』(第一学習社)、 『チャート式デュアルスコープ総合英語』(数研出版)						

学期	月	授業計画	到達目標(定期試験範囲)
1 学 期	4	Lesson 1 [学校・友人]	中間試験5月26日(火)～27日(木) *到達目標 Lesson 1～3 時制と進行相が整理出来る 完了形を適切に使える 不定詞を用いて表現出来る
		Lesson 2 [家庭生活]	
	5	Lesson 3 [環境・リサイクル]	
		Lesson 4 [国際交流・国際理解]	期末試験7月1日(水)～3日(金) *到達目標 Lesson 4～6 動名詞を用いて表現出来る 分詞を適切に使える 第5文型を用いて表現出来る
	6	Lesson5 [言語・外国語]	
	7	Lesson 6 [趣味・映画]	
2 学 期	9	Lesson 7 [スポーツ・クラブ活動]	中間試験10月7日(水)～9日(金)(木) *到達目標 Lesson 7～9 助動詞の使い分けが出来る 受動態を用いて表現出来る 比較表現を整理して理解出来る
		Lesson 8 [科学・エネルギー]	
	10	Lesson 9 [宇宙]	
		Lesson 10 [音楽]	期末試験12月7日(月)～9日(水) *到達目標 Lesson 10～12 関係詞を用いて表現出来る 接続詞を適切に使える 仮定法を用いて表現出来る
	11	Lesson 11 [人生・生き方]	
	12	Lesson 12 [交通・通学]	

履修学年	2	履修コース	特選・選抜	履修条件	必修	単位数	1
教科	英語			科目	Oral Communication		
教科書	Voice Oral Communication(開拓社)						

学期	月	授業計画	到達目標(定期試験範囲)
1 学 期	4	Introduction Catch the numbers 2	OCの授業の目的と目標を確認する ・金額、分数の表現を学ぶ。 ・相手の感想を聞いたり、説明する表現を学ぶ。 中間試験の前の週 Speaking Test 1 Lesson 8 から
	5	Lesson 8 : What's "Miso" Soup?.	・体調に関する英語表現を学ぶ。
	6		期末試験7月1日(水)～3日(金) <範囲・到達目標> テキストのはじめからL.9までのListening Test
	7	Lesson 9 : What's the matter?	<学習ポイント> * 特進・選抜は教科書のほかに英検3級レベルの問題を出題する。
	9		中間試験の前の週 Speaking Test 2 教科書のレッスンから
	10	Lesson 10 : Talking about the future.	・希望や理由を述べる表現を学ぶ。
	11		期末試験12月7日(火)～9日(木) <範囲・到達目標> テキストのはじめからL.11までのListening Test * 特進・選抜は教科書のほかに英検3級レベルの問題を出題する。
12	Lesson 11 : Have a nice flight!		
2 学 期	1	Extensive Reading	・英語の簡単な読み物を楽しむ。
		Various communication activities	・色々な英語の言語活動を行う。
	2	Extensive reading (continued) Various communication activities (continued)	期末試験 3月3(水)～5日(金) <範囲・到達目標> テキストの全ての範囲のListening test * 特進・選抜は教科書のほかに英検3級レベルの問題を出題する。
	3	Review of Textbook in preparation for the last test.	・2年間の総復習・まとめ

学習上のアドバイス

ListeningであってもSpeakingであっても、単語や熟語が基礎になるので、テキストに出てきている単語、熟語、いろいろな表現は必ず覚えるようにする。
授業中にFETの生の英語をよく聞き、前後関係やその場の状況を考えながら、話の内容を理解するようにする。分からない場合は繰り返してもらおう。
単語と単語がつながって発音されるので、どのように聞こえるのか注意し、また自分で同じように発音して音を確認する。
日常的な簡単な英語を学習するが、使い方の違いは生活習慣、文化の違いを表しているなので、その点を理解するようにする。
ラジオやテレビ、ビデオ、英語の歌など身近にある英語を利用して慣れ親しんでみる。AETの先生にも積極的に話しかけるチャンスを持つ。

評価の観点および方法

- 観点
- ・コミュニケーションへの関心・意欲・態度
 - ・表現、理解の能力
 - ・言語や文化についての知識、理解
- 方法
- ・定期試験
 - ・定期試験の直前に行われるSpeakingテスト
 - ・授業中の態度
 - ・出欠状況

推薦参考書・問題集等

- ・図書室English corner にある 英語の読み物(CD付き)

履修学年	2 年	履修コース	・ 類	履修条件	必 修	単位数	4
教 科	英 語			科 目	英 語		
教科書	POLESTAR English Course (数研出版)						

学期	月	授業計画	到達目標(定期試験範囲)	
1 学 期	4	Lesson 1 Travel Manners	中間試験5月26日(火)～28日(木) <範囲・到達目標> 英文読解 ・非言語コミュニケーションの大切さを学ぶ ・夢のメカニズムを学ぶ <学習ポイント> ・to不定詞の受動態 ・might, would, could ・前置詞＋関係代名詞 ・関係代名詞の継続用法 ・助動詞＋have＋過去分詞 ・完了不定詞	
	5	Lesson 2 Visions of the Night		
	6	[中間試験]	期末試験7月1日(水)～3日(金) <範囲・到達目標> ・国境無き医師団について <学習ポイント> ・過去分詞を用いる分詞構文 ・複合関係代名詞 ・関係代名詞の継続用法	
	7	Lesson 3 Doctors to the World *この課は、速読程度にとどめる。		
		[期末試験]		
	2 学 期	8	Lesson 4 Living with Movies - Toda Natsuko	中間試験10月6日(火)～8日(木) <範囲・到達目標> ・字幕翻訳家の戸田奈津子さんがこの仕事に就くまでと字幕作成について語る。 ・ビル・ゲイツへのインタビューを読みとる。 <学習ポイント> ・完了分詞構文 ・未来進行形 ・同格that ・形式主語it ・進行形の受動態 ・複合関係代名詞
		9	Lesson 5 Future Talk: An Interview with Bill Gates	
10		[中間試験]	期末試験12月7日(月)～9日(水) <範囲・到達目標> ・「フェルミの課題」(概算の方法)について、実際の問題を解きながら学習する。 <学習ポイント> ・関係副詞の継続用法 ・仮定法現在 ・否定形の分詞構文	
11		Lesson 6 Smart Guessing *この課は、速読程度にとどめる。		
12		[期末試験]		
		Lesson 7 In Search of Light		

学期	月	授業計画	到達目標(定期試験範囲)
学 期	1	Lesson 7 In Search of Light	学年末試験 3年:1月27日(水)~29日(金) 1・2年:3月3日(水)~5日(金) <範囲・到達目標> ・ゴッホの人生を読みとる ・遺伝子組換え作物について懸念と期待 <学習ポイント> ・S+知覚・使役動詞+O+過去分詞 ・動名詞の意味上の主語 ・仮定法 ・未来完了
	2	Lesson 8 Will This Be the Bio-Century *この課は、速読程度にとどめる。	
	3	[期末試験] 復習プリント 問題集を解く センター受験対策	

学習上のアドバイス

『予習 授業 復習』このサイクルを徹底的に習慣化し、自主的・積極的に英語に取り組む必要がある。教科書の文章読解、文法、単語、熟語などを身につけるとともに、大学入試に対応できる英語力を養えるように応用力を培う。また、大学センター入試に向けての勉強に力を入れていき各大学の入試問題についても研究していく。

評価の観点および方法

< 観点 > ・コミュニケーションへの関心・意欲・態度 ・表現の能力 ・理解の能力 ・言語や文化についての知識・理解

< 方法 >
 定期試験(中間試験・期末試験) 実力判定テスト スピーチコンテスト 単語テスト 課題・宿題、その他の小テスト 遅刻・欠課等の勤怠状況 授業態度

推薦参考書・問題集等

・デュアルスコープ総合英語(数研出版)
 ・デュアルスコープ総合英語ワークブック(数研出版)
 ・速読英単語「入門編」(Z会出版)

履修学年	2年	履修コース	・ 類	履修条件	必修	単位数	2
教科	英語			科目	WRITING		
教科書 副教材	NEW ACCESS TO ENGLISH WRITING (開拓社)						

学期	月	授業計画	到達目標(定期試験範囲)
1 学 期	4	Lesson 1 「私たちの学校」	中間試験5月26日(火)～28日(木) <範囲・到達目標> Lesson 1～3 ・ 文型の習得をする
		Lesson 2 「サッカー部員仲間」	
	5	Lesson 3 「ピーターと日本史」	<学習ポイント> 文型: S + V 文型: S + V + C 文型: S + V + O
	6	Lesson 4 「叔母のワシントン土産」	期末試験7月1日(水)～3日(金) <範囲・到達目標> Lesson 4～6 ・ 文型の習得をする 否定語の位置に気をつけ、否定文を作る
		Lesson 5 「生徒会役員選挙」	
	7	Lesson 6 「サーフィンへの誘い」	<学習ポイント> 文型: S + V + O + O 文型: S + V + O + 前置詞句 文型: S + V + O + C 否定文
2 学 期	8	Lesson 7 「ディズニーランドに行こう」	中間試験10月6日(火)～8日(木) <範囲・到達目標> Lesson 7～9 疑問文・命令文・感嘆文の構造上の特徴を知る 動詞の変化を覚える
	9	Lesson 8 「楽しいドライブ」	
		Lesson 9 「英字新聞を読む」	<学習ポイント> 疑問文 命令文・感嘆文 現在・過去・未来
	11	Lesson 10 「外国人に道を教える」	期末試験12月7日(月)～9日(水) <範囲・到達目標> Lesson 10～12 進行形や完了形の用法を覚える
		Lesson 11 「報道写真家としての仕事」	
	12	Lesson 12 「いるかのショー」	<学習ポイント> 進行形 現在完了・現在完了進行形 過去完了・過去完了進行形

学期	月	授業計画	到達目標(定期試験範囲)
3 学 期	1	Lesson13 「タイムカプセル」	学年末試験 3年:1月27日(水)~29日(金) 1・2年:3月3日(水)~5日(金) <範囲・到達目標> Lesson 13 15 受動態と能動態の書き換えを覚える 助動詞の<許可・推量の表現が書けるようにする <学習ポイント> 受身 助動詞:can, must 助動詞:may
	2	Lesson14 「蝶と蛾」	
	3	Lesson15 「ニュージーランドからの手紙」	

学習上のアドバイス

- ・勉強は必ず辞書を使い、わからない単語を調べるとともに辞書中の例文も覚える。
- ・英文の独特な表現に興味を持ってみる。
- ・英文を書くときに間違いを恐れず、まず書いてみる。
- ・授業で習った文章をいかして自分なりの文章を作ってみる。

評価の観点および方法

- < 観点 >
 ・コミュニケーションへの関心・意欲・態度・表現の能力・理解の能力・言語や文化についての知識、理解
- < 方法 >
 (1) 定期試験(中間試験・期末試験)
 (2) 各レッスンごとの小テスト
 (3) 課題・宿題・授業中の取り組み
 (4) 授業態度、遅刻、欠席等の勤怠状況

推薦参考書・問題集等

- ・英和中辞典
- ・和英中辞典

履修学年	2年	履修コース	特進選抜	履修条件	必修	単位数	2
教科	国語			科目	現代文		
教科書 副教材	『改訂版現代文』（出版社：第一学習社）（1）現代文学習課題集（第一学習社）（2）新国語学習便覧（第一学習社）（3）セレクト漢字（桐原書店）						

学期	月	授業計画	到達目標(定期試験範囲)
1 学 期	4	第 章 評論（一） 「考える楽しみ」 「手の変幻」	中間試験 5月26日(火)～28日(木) <範囲・到達目標> 「考える楽しみ」 「手の変幻」 「山月記」 <学習ポイント> ・評論の基本的な読解方法を習得する。 ・筆者の柔軟な思考方法に触れ、考える楽しみを味わう。 ・短編小説を正確に読解する方法を学ぶ。
	5	小説（一） 「山月記」	
	6	評論（二） 「日本人の『顔』」 「知る - 和語の文化史」	期末試験 7月1日(水)～3日(金) <範囲・到達目標> 「日本人の『顔』」 「知る - 和語の文化史」 詩三編 <学習ポイント> ・論理的な文章の展開を正確に把握する。 ・抽象的な言葉の意味を押さえ、その内容や背景を理解する力を養う。 ・近代詩現代詩の鑑賞の方法を学ぶ。 ・近代詩現代詩の技法を学ぶ。
	7	詩 「わたしが一番きれいだったとき」 「ちがう人間ですよ」 「永訣の朝」 小説（二） 「タオル」 「夏の花」	
2 学 期	8		中間試験 10月7日(水)～9日(金) <範囲・到達目標> 「タオル」 「道具と文化」 「この村が日本で一番」 <学習ポイント> ・短編小説の面白さを味わわせ、鑑賞の方法を学ぶ。 ・具体的な描写や表現を通して、その奥にある感情や関係性を読み取る力を養う。 ・文章の論理的な構成を理解し、筆者の主張を正確に把握する。
	9	評論（三） 「道具と文化」 「この村が日本で一番」	
	10	評論（四） 「衣服という社会」 「『私』を置き去りにする身体」	期末試験 12月7日(月)～9日(水) <範囲・到達目標> 「衣服という社会」「『私』を置き去りにする身体」「こころ」 <学習ポイント> ・評論の論旨を正しくとらえ、内容を理解する力を深める。 ・身近な現象から本質的なものをとらえる思考方法を学ぶ。 ・常識的な価値意識を相対化し、柔軟な思考の大切さを知る。 ・小説を主体的に読解・鑑賞する。
	11	小説（三） 「こころ」 創作の楽しみ 「短歌と俳句」	

学期	月	授業計画	到達目標(定期試験範囲)
3 学 期	1	評論(四) 「妖怪と現代文化」	学年末試験 3月3日(水)～5日(金) <範囲・到達目標> 「妖怪と現代文化」 「想像としての現実」 「誘惑する情報」 <学習ポイント> ・人間と文化の関わりを、論理的に分析する力を養う。 ・単なる二項対立に収まらない、脱構築型評論の読解方法を身につける。 ・より抽象度の高い文章の読み方に習熟する。 ・人間の社会の根源にあるものは何かを考える。
	2	「想像としての現実」	
	3	第 章 評論(一) 「誘惑する情報」 「未来世代への責任」	

学習上のアドバイス

学習のアドバイス

- ・「読むこと」を習慣づけること。そのうえで方法的に読解すること。論理的文章の読解の目的は、筆者の主張の理解と筆者の見方や思考方法を把握することです。書かれている内容の正確な理解と筆者の思考を正確にたどり、そしてその要点を把握し表現することは大切です。現代文は他人の文章を読解することによって、自分の考え方を鍛える科目なのです。現代文はすべての教科・科目の基礎と言われるのはそのためです。
 - ・教科書を通して触れた内容をさらに深められるよう、新聞などを活用して様々なジャンルの文章を積極的に読んでください。
 - ・語彙力、読解力を身に付けるために、常に辞書を活用してください。また参考書は現代文読解の方法と演習問題解法
- 成果がすぐには見えない科目ですが、長く地道に続けることが大切です。

評価の観点および方法

- (1)定期試験(中間試験・期末試験)、実力試験の到達度
 - (2)宿題等、提出物の達成度
 - (3)授業遅刻・早退・欠課等の勤怠状況
 - (4)授業態度
- 以上4項目について総合的に判断し、評価する。

推薦参考書・問題集等

- 『出口現代文入門講義の実況中継』上・下(語学春秋社)
- 『船口の最強の現代文』1・2(学研)
- 『現代文キーワード読解』(Z会)
- 『富井の古典文法をはじめからていねいに』(東進ブックス)
- 『土屋の古文講義』1・2(代々木ライブラリ)
- 『速読古文単語』(Z会)
- 『漢文早覚え速答法』(学研)

履修学年	2年	履修コース	類	履修条件	必修	単位数	3
教科	国語			科目	現代文		
教科書 副教材	『現代文』(出版社・第一学習社) (1)現代文学習課題集(第一学習社)(2)日本文学史必携(尚文出版)(3)セレクト漢字検定(桐原書店)						
学期	月	授業計画		到達目標(定期試験範囲)			
1 学期	4	第 章 評論(一) 「考える楽しみ」 「手の変幻」		中間試験 5月26日(火)～28日(木) <範囲・到達目標> 範囲:「考える楽しみ」・「手の変幻」・「知る - 和語の文化誌」 到達目標:論理的な文章を読むことによって、ものの見方、 感じ方、考え方を深める。			
	5	評論(二) 「知る - 和語の文化誌」		<学習のポイント> ・文章の主題の把握をする。 ・表現形式を学ぶ。 ・語彙を豊富にする。			
	6	[中間試験] 「この村が日本で一番」		期末試験 7月1日(水)～3日(金) <範囲・到達目標> 範囲:「知る-和語の文化誌」・「この村が日本で一番」・「タオ」 到達目標:論理的な文章を読むことによって、ものの見方、 感じ方、考え方を深める。文学的な文章を読むことによっ て、心情や情景などを捉える。			
	7	小説(二) 「山月記」 [期末試験]		<学習のポイント> ・文章の主題の把握をする。 ・登場人物の心情を理解する。 ・表現形式を学ぶ。 ・語彙を豊富にする。			
2 学期	8			中間試験 10月7日(水)～9(金) <範囲・到達目標> 範囲:「山月記」・「衣服という社会」 到達目標:論理的な文章を読むことによって、ものの見方、 感じ方、考え方を深める。文学的な文章を読むことによっ て、心情や情景などを捉える。			
	9	評論(四) 「衣服という社会」		<学習のポイント> ・文章の主題の把握をする。 ・登場人物の心情を理解する。 ・表現形式を学ぶ。 ・語彙を豊富にする。			
	10	[中間試験] 「私を置き去りにする身体」		期末試験 12月7日(月)～9日(水) <範囲・到達目標> 範囲:「私を置き去りにする身体」・「妖怪と現代文化」 到達目標:論理的な文章を読むことによって、ものの見方、 感じ方、考え方を深める。			
	11	評論(五) 「妖怪と現代文化」		<学習のポイント> ・文章の主題の把握をする。 ・表現形式を学ぶ。 ・語彙を豊富にする。			
12	[期末試験]						

学期	月	授業計画	到達目標(定期試験範囲)
3 学 期	1	「想像としての現実」 [学年末試験]	学年末試験 3年:1月27日(水)～29(金) 1・2年:3月3日(水)～5日(金) < 範囲・到達目標 > 範囲:「妖怪と現代文化」・「想像としての現実」 到達目標:論理的な文章を読むことによって、ものの見方、感じ方、考え方を深める。
	2	第 章 評論(一) 「誘惑する情報」	
	3	創作の楽しみ 「短歌と俳句」	< 学習のポイント > ・文章の主題の把握をする。 ・表現形式を学ぶ。 ・語彙を豊富にする。

学習上のアドバイス	
<p>「読むこと」を習慣づける。書かれている内容、指示されている内容を理解することが大切。正しい読み取りの基に、自らの思考や考察が加わり、正しい表現につながる。どちらの活動に於いても、言語事項は重要なので言葉を大切にす。1年生までの学習の基礎を確立して、2年生での学習の基本をしっかりと授業で学習する。 ・積極的に授業に取り組むこと。</p>	
評価の観点および方法	
1	定期試験(中間試験・期末試験)
2	宿題、提出物等の達成度
3	授業欠課・遅刻・早退等の状況
4	授業態度
上記の4項目について総合的に判断し、評価する。	
推薦参考書・問題集等	
1	『出口の現代文入門講義の実況中継』上・下(語学春秋社)
2	『舟口の最強の現代文』1・2(学研)
3	『現代文のキーワード読解』(Z会)

履修学年	2年	履修コース	類理系	履修条件	必修	単位数	2
教科	国語			科目	現代文		
教科書 副教材	『現代文』(出版社・第一学習社) (1)現代文学習課題集(第一学習社)(2)日本文学史必携(尚文出版)(3)セレクト漢字検定(桐原書店)						
学期	月	授業計画		到達目標(定期試験範囲)			
1 学期	4	第 章 評論(一) 「考える楽しみ」 「手の変幻」		中間試験 5月26日(火)～28日(木) <範囲・到達目標> 範囲:「考える楽しみ」・「手の変幻」・「知る - 和語の文化誌」 到達目標:論理的な文章を読むことによって、ものの見方、 感じ方、考え方を深める。			
	5	評論(二) 「知る - 和語の文化誌」		<学習のポイント> ・文章の主題の把握をする。 ・表現形式を学ぶ。 ・語彙を豊富にする。			
	6	[中間試験] 「この村が日本で一番」		期末試験 7月1日(水)～3日(金) <範囲・到達目標> 範囲:「知る-和語の文化誌」・「この村が日本で一番」・「タオ」 到達目標:論理的な文章を読むことによって、ものの見方、 感じ方、考え方を深める。文学的な文章を読むことによっ て、心情や情景などを捉える。			
	7	小説(二) 「山月記」	[期末試験]	<学習のポイント> ・文章の主題の把握をする。 ・登場人物の心情を理解する。 ・表現形式を学ぶ。 ・語彙を豊富にする。			
2 学期	8			中間試験 10月7日(水)～9(金) <範囲・到達目標> 範囲:「山月記」・「衣服という社会」 到達目標:論理的な文章を読むことによって、ものの見方、 感じ方、考え方を深める。文学的な文章を読むことによっ て、心情や情景などを捉える。			
	9	評論(四) 「衣服という社会」		<学習のポイント> ・文章の主題の把握をする。 ・登場人物の心情を理解する。 ・表現形式を学ぶ。 ・語彙を豊富にする。			
	10	[中間試験] 「私を置き去りにする身体」		期末試験 12月7日(月)～9日(水) <範囲・到達目標> 範囲:「私を置き去りにする身体」・「妖怪と現代文化」 到達目標:論理的な文章を読むことによって、ものの見方、 感じ方、考え方を深める。			
	11	評論(五) 「妖怪と現代文化」		<学習のポイント> ・文章の主題の把握をする。 ・表現形式を学ぶ。 ・語彙を豊富にする。			
	12		[期末試験]				

学期	月	授業計画	到達目標(定期試験範囲)
3 学 期	1	「想像としての現実」 [学年末試験]	学年末試験 3年:1月27日(水)～29(金) 1・2年:3月3日(水)～5日(金) < 範囲・到達目標 > 範囲:「妖怪と現代文化」・「想像としての現実」 到達目標:論理的な文章を読むことによって、ものの見方、感じ方、考え方を深める。
	2	第 章 評論(一) 「誘惑する情報」	
	3	創作の楽しみ 「短歌と俳句」	< 学習のポイント > ・文章の主題の把握をする。 ・表現形式を学ぶ。 ・語彙を豊富にする。

学習上のアドバイス	
<p>「読むこと」を習慣づける。書かれている内容、指示されている内容を理解することが大切。正しい読み取りの基に、自らの思考や考察が加わり、正しい表現につながる。どちらの活動に於いても、言語事項は重要なので言葉を大切にす。1年生までの学習の基礎を確立して、2年生での学習の基本をしっかりと授業で学習する。 ・積極的に授業に取り組むこと。</p>	
評価の観点および方法	
1	定期試験(中間試験・期末試験)
2	宿題、提出物等の達成度
3	授業欠課・遅刻・早退等の状況
4	授業態度
上記の4項目について総合的に判断し、評価する。	
推薦参考書・問題集等	
1	『出口の現代文入門講義の実況中継』上・下(語学春秋社)
2	『舟口の最強の現代文』1・2(学研)
3	『現代文のキーワード読解』(Z会)

履修学年	2年	履修コース	類	履修条件	必修	単位数	3
教科	国語			科目	現代文		
教科書 副教材	『改訂 現代文』(出版社 第一学習社) (1)現代文 学習課題集(第一学習社) (2)新国語学習便覧(第一学習社) (3)セレクト漢字(桐原書店)						

学期	月	授業計画	到達目標(定期試験範囲)
1 学期	4	第 章 評論(一) 「考える楽しみ」 「手の変幻」	中間試験 5月26日(火)～28日(木) <範囲・到達目標> 範囲:「考える楽しみ」「手の変幻」「日本人の『顔』」 到達目標:評論の基本的な読み方を習得する。 筆者の柔軟な思考方法に触れ、考える楽しみを味わう。 抽象的な単語が何をさしているのかを考える。
	5	評論(二) 「日本人の『顔』」	<学習のポイント> ・文章の主題の把握をする。 ・抽象的な表現に慣れ、指し示している内容をつかむ。 ・語彙を豊富にする。
	6	評論(二) 「知る - 和語の文化誌」 評論(三) 「道具と文化」	期末試験 7月1日(水)～3日(金) <範囲・到達目標> 範囲:「知る - 和語の文化誌」「道具と文化」「この村が日本で一番」 到達目標:文章の論理的な構成を理解し、筆者の主張を正確に把握する。身近なものの考察を通して、人間のあり方について理解を深める。 学習のポイント ・具体的な内容と展開を的確に読み取り、文章の主題の把握をする。 ・表現形式を学ぶ。 ・語彙を豊富にする。
7	「この村が日本で一番」		
2 学期	8		中間試験 10月6日(水)～8(金) <範囲・到達目標> 範囲:「タオル」「衣服という社会」 到達目標:小説の面白さを味わわせ、鑑賞の仕方を学ぶ。 具体的な描写や表現を通して、感情や関係性を読み取る力を養う。 評論の論旨を正しくとらえ、内容を理解する力を深める。
	9	小説(二) 「タオル」 評論(四) 「衣服という社会」	<学習のポイント> ・登場人物の関係性を理解する。 ・登場人物の心情を理解する。 ・比喩表現を中心とした表現形式を学ぶ。 ・語彙を豊富にする。
	10	「私を置き去りにする身体」	期末試験 12月7日(月)～9日(水) <範囲・到達目標> 範囲:「私を置き去りにする身体」「妖怪と現代文化」 到達目標:日常的な価値意識を揺さぶり、柔軟に思考することの大切さを学ぶ。 文化と人間の関わりを、論理的に分析する力を養う。 長い評論文を、論の展開のしかたや構成の型に留意しながら、正確に読解する力を身につける。
	11	評論(五) 「妖怪と現代文化」	<学習のポイント> ・文章の主題の把握をする。 ・論の展開のしかたをつかむ。 ・表現形式を学ぶ。 ・語彙を豊富にする。
12	「想像としての現実」		

学期	月	授業計画	到達目標(定期試験範囲)
3 学 期	1	第 章 評論(一) 誘惑する情報	学年末試験 3年:1月27日(水)~29(金) 1・2年:3月3日(水)~5日(金) < 範囲・到達目標 > 範囲:「想像としての現実」「誘惑する情報」 到達目標:抽象度の高い文章の読み方に習熟する。 筆者の視点や方法を的確に把握する。 本文で扱われている問題を、身近な問題としてとらえる力を養う。 < 学習のポイント > ・形式段落ごとに要点を把握する。 ・キーワードが使われる意図を文脈の中で理解する。 ・抽象的表現、比喩的表現をわかりやすい表現に置き換え ・抽象的表現、比喩的表現をわかりやすい表現に置き換えて理解する。
	2	第 章 小説(三) 「ころ」	
	3	創作の楽しみ 「短歌と俳句」	

学習上のアドバイス
<p>「読むこと」を習慣づけて、書かれている内容や指示されている内容を理解することが大切。正しい読み取りができると、自らの思考や考察が加わり、正しい表現につながる。言語活動は重要なので、言葉を大切に。具体的な活動として、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常に辞書を活用して、語彙を増やし読解力を身につけよう。 ・様々なジャンルの本を積極的に読んで、自分の見識を広げよう。 ・予習・復習を必ずやり、副教材などを積極的に活用していこう。 ・テキストを使い、自分の言葉で文章を書こう。 ・積極的に授業に取り組み、自分の考えを身につけていこう。
評価の観点および方法
<p>(1)定期試験(中間試験・期末試験)、実力試験の到達度</p> <p>(2)宿題等、提出物の達成度</p> <p>(3)授業遅刻・早退・欠課等の勤怠状況</p> <p>(4)授業態度</p> <p>以上4項目について総合的に判断し、評価する。</p>
推薦参考書・問題集等
<p>『出口の現代文入門講義の実況中継』上・下(語学春秋社)</p> <p>『船口の最強の現代文』1・2(学研)</p> <p>『現代文キーワード読解』(Z会)</p>

履修学年	2年	履修コース	特進選抜	履修条件	必修	単位数	3
教科	国語			科目	古典		
教科書 副教材	改訂版古典古文編、改訂版古典漢文編(第一学習社)古典学習課題集(第一学習社)、やさしく詳しい古典文法(尚文出版)、新訂総合国語便覧(第一学習社)						

学期	月	授業計画	到達目標(定期試験範囲)
1 学 期	4	古文編 説話 「大江山」(古今著聞集) 「保昌と袴垂」(宇治拾遺物語) 「行成と実方」(十訓抄)	<p>中間試験 5月26日(火)～28日(木) <範囲・到達目標>「大江山」「保昌と袴垂」「行成と実方」「いでや、この世に生まれては」「あだし野の露」「螻蛄之斧」「助長」「病入膏肓」 <学習ポイント> ・話の面白さを理解し、人物の行動や心情を読み味わう。 漢文への親しみをもち、話の内容を理解する。 ・古文学習の基礎である文法(品詞の識別、用言、助詞、助動詞)の確認。 ・漢文の訓読の基本を確認する。故事のもつ寓意を理解する。</p> <p>期末試験 7月1日(水)～3日(金) <範囲・到達目標> 「久しく隔たりて」「名を聞くより」「花は盛りに」「ゆく川の流れ」「知音」「蛇足」「鼓腹撃壤」 <学習ポイント> ・筆者のものの見方や考え方を読み取る。 ・各章段の主題や構成を理解する。 ・登場人物の心理や行動をとらえる。 ・故事や寓話にこめられた古代中国人のものの見方・考え方を味わう。</p>
	5	漢文編 故事・寓話 「螻蛄之斧」「助長」「病入膏肓」	
	7	随筆(一) 徒然草・方丈記 「いでや、この世に生まれては」「あだし野の露」 「久しく隔たりて」「ゆく川の流れ」「安元の大火」(方丈記) 文法の要点1 「知音」「蛇足」(淮南子など) 古代の史話 「鼓腹撃壤」 古文編 物語(一) 「帝の求婚」	
2 学 期	8		<p>中間試験 10月7日(水)～9日(金) <範囲・到達目標> 「帝の求婚」「かくや姫の昇天」「初冠」「通ひ路の関守」「小野の雪」「つひにゆく道」「姥捨」「囊中の錐」「赤壁之戦」 <学習ポイント> ・昔話としてなじみのある作品を読んで、古文に親しむ。 ・話の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・助動詞と助詞の知識を深める。 ・敬語の基本的な知識を身につける。</p> <p>期末試験 12月7日(月)～9日(水) <範囲・到達目標> 「春はあけぼの」「木の花」「かたはらいたきもの」「村上の先帝の御時」「雪のいと高う」「光る君誕生」「若紫」「雲林院」「花山天皇」「道長と伊周」・長編物語の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。・古典文法、特に助動詞を習得する。</p>
	9	古文編 物語(一) 「かくや姫の昇天」(竹取物語) 「初冠」「通ひ路の関守」「小野の雪」「つひにゆく道」(伊勢物語)「姥捨」(大和物語) 文法の要点2	
	10	漢文編 古代の史話 「囊中の錐」「赤壁之戦」(十八史略)	
	11	古文編 随筆(二) 「光る君誕生」・「若紫」(源氏物語) 漢文編 漢詩の鑑賞 「独座敬亭山」その他 「不出門」その他 志怪と伝奇 「白水素女」「沈中記	
	12		

学期	月	授業計画	到達目標(定期試験範囲)
学 期	1	古文編 物語(二) 「忠度」「能登殿の最期」(平家物語)	学年末試験 3月3日(水)～5日(金) <範囲・到達目標> 「忠度」「能登殿の最期」「門出」「源氏の五十余巻」「資盛との思い出」「悲報到来」 「白水素女」「沈中記」「論語」「孟子」 <学習ポイント> ・物語の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・古典文法の知識の完成を目指す。
	2	古文編 日記 「門出」「源氏の五十余巻」(更級日記) 「資盛との思い出」「悲報到来」(建礼門院右京太夫集) 漢文編 儒家の思想 「論語」「孟子」 漢文編 随筆・紀行 「盗智」 「畏饅頭」「入蜀記」	
	3	和歌・俳諧 万葉集 古今和歌集 新古今和歌集	

学習上のアドバイス

「国語総合」で学んだ基礎的事項を土台にして、系統的・段階的に文章の範囲を広げ深度を深め、「古典」の学習を充実させる。そのために、以下の六点を中心に学習を進めていく。

- ・古文や漢文に用いられている語句の意味を、的確に調べてより深く、より幅広く理解する。
- ・文法的な用法、文の構造に対する理解を深め、文章の内容を正確に把握する。
- ・歴史的な背景の理解をもとに、文章全体の内容を的確に把握し、作品世界とその意味を正確に読解する。
- ・古典の文章に表現された自然・社会・人間の把握をもとに、筆者の見方・感じ方・考え方を味わい、言語能力・感受性・思考能力を高める。
- ・さまざまな文章の表現上の卓越性を理解し、優れた表現に親しむことで表現力をつける。
- ・古典の文章読解の基盤である、日本と中国の文化に対する関心と理解を深める。

評価の観点および方法

(1) 定期試験(中間試験・期末試験)、実力試験、小テストの到達度 (2)
 家庭学習課題の到達度
 (3) 授業欠課・遅刻・早退などの勤怠状況
 (4) 授業態度 以上の4項目について総合的に判断し、評価を行う。

『富井の古典文法をはじめからていねいに』(東進ブックス)
 『土屋の古文講義』1・2 (代々木ライブラリ)
 『速読古文単語』(Z会)
 『漢文早覚え速答法』(学研)

履修学年	2 年	履修コース	類・理	履修条件	必 修	単位数	3 単位
教 科	国 語			科 目	古 典		
教科書 副教材	『古典 古文編』・『古典 漢文編』(出版社:第一学習社) 古文・漢文学習課題集(第一学習社) やさしく詳しい古典文法(尚文出版) 新国語便覧(第一学習社)						

学期	月	授業計画	到達目標(定期試験範囲)
1 学 期	4	説話 「行成と実方」 (十訓抄)	中間試験 5月26日(火)~28日(木) <範囲・到達目標> 「行成と実方」 「安元の大火」 「病人膏肓」
	5	随筆(一) 「安元の大火」 (方丈記)	<学習ポイント> ・古文基礎知識の確認する。 ・随筆文学の特色の理解する。 ・漢文基礎知識の定着をはかる。
	6	故事・寓話 「病人膏肓」 (春秋左氏伝)	期末試験 7月1日(水)~3日(金) <範囲・到達目標> 「病人膏肓」 「帝の求婚」 「村上の先帝の御時に」
	7	物語(一) 「帝の求婚」 (竹取物語)	<学習ポイント> ・話の展開、人物の行動や心理を理解する。 ・随筆の特色を理解する。 ・漢文に親しみ、話の内容を理解する。
2 学 期	8	随筆(二) 「村上の先帝の御時に」 (枕草子)	
	9	物語(二) 「若紫」 (源氏物語)	中間試験 10月6日(火)~8日(木) <範囲・到達目標> 「若紫」 「鴻門之会」
	10	項羽と劉邦 「鴻門之会」 (史記)	<学習ポイント> ・物語の表現・文体に親しむ ・話の展開を把握して人物の心理や心情を読み取る ・歴史物語の構成や展開を把握し、人物の行動を読み取る
	11	物語(二) 「道長と伊周」 (大鏡)	期末試験 12月7日(月)~9日(水) <範囲・到達目標> 「道長と伊周」 「論語」 「孟子」
12	儒家の思想 「論語」 「孟子」より 『性善』	<学習ポイント> ・中国の主要な思想の儒家の概要を理解する。 ・軍記物語の構成や展開を把握し、人物の行動や心情を読み取る。	

学期	月	授業計画	到達目標(定期試験範囲)
学 期	1	日記 「門出」 (更級日記) 和歌・俳諧 万葉集 古今和歌集 新古今和歌集	学年末試験 3年:1月27日(水)~29日(金) 1・2年:3月3日(水)~5日(金) <範囲・到達目標> 「門出」 万葉集 古今和歌集 新古今和歌集 <学習ポイント> ・日記を読み、自然・人間・社会に対する作者の思想や感情を読み取る。 ・中国古典の随筆のおもしろさを味わい、宋代の知識人の文章に親しむ。 ・和歌の優れた表現に親しむ。 ・和歌に込められた思想や感情を読み取る。 ・和歌の修辞技巧や歌集の時代の表現上の特色を理解する。
	2		
	3		

学習上のアドバイス

古典では文法や文学史などの覚える分野と、文章内容の読みとりや心情描写の把握などの考える分野とがある。その点をしっかりとわきまえた学習ができるように、工夫することが大切である。

また、地理的・歴史的な背景を確認する上で、「地理・日本史・世界史」との関連が大きいため、古典の学習と併せて学習を深めることを心がけるとよい。

評価の観点および方法

- (1) 定期試験(中間試験・期末試験)、実力試験、授業時の確認テストの到達度
 - (2) 家庭学習課題の到達度
 - (3) 授業欠課・遅刻・早退などの勤怠状況
 - (4) 授業態度
- 以上の4項目について総合的に判断し、評価を行う。

推薦参考書・問題集等

- 『富井の古典文法をはじめからていねいに』(東進ブックス)
- 『土屋の古文講義』1・2 (代々木ライブラリ)
- 『速読古文単語』(Z会)
- 『漢文早覚え速答法』(学研)

履修学年	2 年	履修コース	類	履修条件	必 修	単位数	3 単位
教 科	国 語			科 目	古 典		
教科書 副教材	『古典 古文編』・『古典 漢文編』(出版社:第一学習社) 古文・漢文学習課題集(第一学習社) やさしく詳しい古典文法(尚文出版) 新国語便覧(第一学習社)						

学期	月	授業計画	到達目標(定期試験範囲)
1 学 期	4	説話 「行成と実方」 (十訓抄)	中間試験 5月26日(火)~28日(木) <範囲・到達目標> 「行成と実方」 「安元の大火」 「病人膏肓」
	5	随筆(一) 「安元の大火」 (方丈記)	<学習ポイント> ・古文基礎知識の確認する。 ・随筆文学の特色の理解する。 ・漢文基礎知識の定着をはかる。
	6	故事・寓話 「病人膏肓」 (春秋左氏伝)	期末試験 7月1日(水)~3日(金) <範囲・到達目標> 「病人膏肓」 「帝の求婚」 「村上の先帝の御時に」
	7	物語(一) 「帝の求婚」 (竹取物語)	<学習ポイント> ・話の展開、人物の行動や心理を理解する。 ・随筆の特色を理解する。 ・漢文に親しみ、話の内容を理解する。
2 学 期	8	随筆(二) 「村上の先帝の御時に」 (枕草子)	
	9	物語(二) 「若紫」 (源氏物語)	中間試験 10月6日(火)~8日(木) <範囲・到達目標> 「若紫」 「鴻門之会」
	10	項羽と劉邦 「鴻門之会」 (史記)	<学習ポイント> ・物語の表現・文体に親しむ ・話の展開を把握して人物の心理や心情を読み取る ・歴史物語の構成や展開を把握し、人物の行動を読み取る
	11	物語(二) 「道長と伊周」 (大鏡)	期末試験 12月7日(月)~9日(水) <範囲・到達目標> 「道長と伊周」 「論語」 「孟子」
12	儒家の思想 「論語」 「孟子」より 『性善』	<学習ポイント> ・中国の主要な思想の儒家の概要を理解する。 ・軍記物語の構成や展開を把握し、人物の行動や心情を読み取る。	

学期	月	授業計画	到達目標(定期試験範囲)
学 期	1	日記 「門出」 (更級日記) 和歌・俳諧 万葉集 古今和歌集 新古今和歌集	学年末試験 3年:1月27日(水)~29日(金) 1・2年:3月3日(水)~5日(金) <範囲・到達目標> 「門出」 万葉集 古今和歌集 新古今和歌集 <学習ポイント> ・日記を読み、自然・人間・社会に対する作者の思想や感情を読み取る。 ・中国古典の随筆のおもしろさを味わい、宋代の知識人の文章に親しむ。 ・和歌の優れた表現に親しむ。 ・和歌に込められた思想や感情を読み取る。 ・和歌の修辞技巧や歌集の時代の表現上の特色を理解する。
	2		
	3		

学習上のアドバイス

古典では文法や文学史などの覚える分野と、文章内容の読みとりや心情描写の把握などの考える分野とがある。その点をしっかりとわきまえた学習ができるように、工夫することが大切である。

また、地理的・歴史的な背景を確認する上で、「地理・日本史・世界史」との関連が大きいので、古典の学習と併せて学習を深めることを心がけるとよい。

評価の観点および方法

- (1) 定期試験(中間試験・期末試験)、実力試験、授業時の確認テストの到達度
 - (2) 家庭学習課題の到達度
 - (3) 授業欠課・遅刻・早退などの勤怠状況
 - (4) 授業態度
- 以上の4項目について総合的に判断し、評価を行う。

推薦参考書・問題集等

- 『富井の古典文法をはじめからていねいに』(東進ブックス)
- 『土屋の古文講義』1・2 (代々木ライブラリ)
- 『速読古文単語』(Z会)
- 『漢文早覚え速答法』(学研)

履修学年	2	履修コース	特進・選抜	履修条件	必修	単位数	7
教科	数学			科目	数学・数学B		
教科書 副教材	高等学校数学 (東京書籍)・高等学校数学B (東京書籍) 特進:ニュークオリティ・数学・B(東京書籍) 選抜:ニュースコープ数学・B(東京書籍)						

学期	月	授業計画	到達目標(定期試験範囲)
1 学 期	4	【数学】 第1章 式の計算と方程式 1節 整式の除法と分数式 (1) 整式の除法 (2) 分数式とその演算 節末問題 2節 2次方程式 (1) 複素数とその演算 (2) 解の公式 (3) 2次方程式の解と係数の関係 節末問題	中間試験 5月26日(火)~28日(木) <範囲> 数学 1章, 2章 1節まで <到達目標> 教科書の学習内容を理解し、これを用いて、センター入試のこの分野の問題がわかって解けるようにする。 また、国公立大学の2次試験、私立大学の入試問題レベルの問題も、理解し、正解まで辿り着けるようにする。 グラフと方程式の関係を理解する
	5	3節 高次方程式 (1) 因数定理 (2) 簡単な高次方程式 節末問題 4節 式と証明 (1) 恒等式 (2) 不等式の証明 節末・章末問題	
	6	第2章 図形と方程式 1節 点と直線 (1) 2点間の距離 (2) 内分点・外分点 (3) 直線の方程式 (4) 2直線の位置関係 節末問題 [中間試験]	
2 学 期	7	【数学B】 第1章 数列 1節 数列 (1) 数列 (2) 等差数列 (3) 等差数列の和 (4) 等比数列 (5) 等比数列の和 (6) 和の記号 (7) いろいろな数列 第2章 漸化式と数学的帰納法 (1) 漸化式 (2) 数学的帰納法 節末・章末問題 [期末試験]	期末試験 7月1日(水)~3日(金) <範囲> 数B 1章 <到達目標> 教科書の学習内容を理解し、これを用いて、センター入試のこの分野の問題がわかって解けるようにする。 また、国公立大学の2次試験、私立大学の入試問題レベルの問題も、理解し、正解まで辿り着けるようにする。 数列の概念を入れ、漸化式・帰納法などを、複雑な文章でも、正確に読み取り、理解する。
	8	【数学】 第2章 図形と方程式 2節 円 (1) 円の方程式 (2) 円と直線 節末問題	
	9	3節 軌跡と領域 (1) 軌跡の方程式 (2) 不等式の表す領域 (3) 連立方程式の表す領域 節末・章末問題	
10 学 期	10	【数学】 第3章 三角関数 1節 一般角の三角関数 2節 加法定理 [数試験]	数 試験 <範囲> 数 2章 2, 3節, 3章 <到達目標> 教科書の学習内容を理解し、これを用いて、センター入試のこの分野の問題がわかって解けるようにする。 三角関数は1年次3月に既習
	11	【数学B】 第2章 ベクトル 1節 平面上のベクトル (1) 意味 (2) 加法・減法・実数倍 (3) 成分 (4) 内積 2節 ベクトルの応用 (1) 位置ベクトル (2) ベクトル方程式 (3) 図形への応用 3節 空間におけるベクトル (1) 空間座標 (2) 空間のベクトル (3) 空間図形 節末・章末問題 [中間試験]	
	12	【数学】 第4章 指数関数と対数関数 1節 指数関数 (1) 指数法則 (2) 累乗根 (3) 指数の拡張 (4) グラフ 2節 対数関数 (1) 対数とその性質 (2) 関数とグラフ (3) 常用対数 第5章 微分と積分 1節 微分係数と導関数 (1) 微分係数 (2) 導関数 [期末試験]	

学期	月	授業計画	到達目標(定期試験範囲)
学 期	1	2節 導関数の応用 (1) 接線 (2) 関数の増減と極大・極小 (3) 関数の最大・最小 (4) 方程式・不等式への応用	統一試験 <範囲> 数 5章 <到達目標> 教科書の学習内容を理解し、これを用いて、センター入試のこの分野の問題がわかって解けるようにする。 グラフの概形と面積計算の理解
	3	3節 積分 (1) 不定積分 (2) 定積分 (3) 面積 [統一試験]	
	2	数学 ・Bのセンター入試レベルの問題演習 [学年末試験]	学年末試験 3月3日(水)～5日(金) <範囲・到達目標> 数学 ・A, ・Bの学習内容の理解度をセンター対策の問題ではかり、この時点でセンター試験 8割を目指す。特に、数 ・Aについては忘れていた所の最終確認の場であることを自覚する。
	3	数学 ・A, ・Bのセンター入試レベルの問題演習	

学習上のアドバイス

・『教科書にはすべて書いてある』:教科書を中心に学習・理解し、4STEPで知識の定着を図る。
 ・『計算力の強化を図る』:多くの問題を解くことで、正確に迅速に解くことができるよう心がける
 ・『きちんとしたノート作りをする』:授業ごとに復習しながらしっかりと整理する。
 ・『模擬試験・定期試験用のノートを作る』:入試に対応する自分のための参考書を作成する。
 ・『疑問点はその日のうちに解決する』:解らないことを残しても次に進める姿勢をなくすことが大切。
 まずは、簡単な問題で、『解答の必然性』を考えながら、答えを導き出すという習慣を作ることが大切だと考える。中には、覚えなくてはならないものもあるが、『わかって解く』ことに重点を置かなければ、新規の問題に対して全く歯が立たない。例えば、公式は定理や公理から導かれ、問題を解くときに便利に使える。
 したがって、極論を言えば公理や定理を押さえてあれば、公式はいらない。だから、公式を暗記することからスタートではなく、公式を導き出すことからスタートし、正解まで必然的な流れに沿った解答作り(頭の動かし方)を根底におくべきである。

評価の観点および方法

(1)定期試験・模擬テスト (2)課題・宿題・小テスト (3)遅刻・欠課等の勤怠状況 (4)授業への参加意欲 の4項目を、(I)関心・態度・意欲 (II)数学的な見方・考え方 (III)表現・処理 (IV)知識・理解 の4観点で総合的に判断して、評価します。

推薦参考書・問題集等

まずは、自分にとって高校数学の基礎から応用までまんべんなく取り込んであると思えるもので、自分に合ったものを購入することが参考書・問題集を決める一番大切な基準である。この基準の下で、以下に推薦するものを中心に、購入・使用を考えてはいかがだろうか。

<参考書>

チャート式;基礎編から応用編まで沢山のシリーズがある参考書の定番(行間まで読める子にお勧め)
 マセマ出版社のシリーズ;超基礎編から、入試まですべてのシリーズがあり、解説が丁寧で読みやすい。
 ニューアクション ;教科書と同一の出版社なので、違和感が少ない。ファンがHPまで作っている名著各予備校が出しているもの;講義形式で読みやすい。自分の力に合うものがあればお勧め。

Z会のシリーズ;難関大学への入学を考えている場合には必読と考える。

大学への数学(東京出版)一対一の対応;難関私立や国公立 2次対策用。良問揃いです。

<問題集> 解答や解説が詳しくないものは購入する価値がない。

ニュークオリティ数 + A;東京書籍が出している教科書傍用の問題集です。

大学への数学(東京出版);月刊誌です。読み物として使用するの十分だと思います。

NEWファイブ 大学入試問題 140選 ・B(第一学習社);自学自習しやすい充実した解答・解説

とにかく、書店に足を運び、自分の目で確かめて購入すべきである。様々な参考書や問題集が販売されているのは、人により、好み異なるからで、決して、本そのものに出来不出来の差が大きいということではない。だから、必要性を感じたら、自ら書店に出向き、自分のセンスで本を見ることが大切になるのである。また、県内予備校の使用しているテキストもなかなか侮れないことを書き添えておく。

履修学年	2	履修コース	類(文系)	履修条件	必修	単位数	6
教科	数学			科目	数学・数学B		
教科書 副教材	高等学校数学 (東京書籍)・高等学校数学B (東京書籍) ニュージャスト 数学・B (東京書籍)						

学期	月	授業計画	到達目標(定期試験範囲)
1 学 期	4	【 数学 】 第1章 式の計算と方程式 1節 整式の除法と分数式 (1) 整式の除法 (2) 分数式とその演算 節末問題 2節 2次方程式 (1) 複素数とその演算 (2) 解の公式 (3) 2次方程式の解と係数の関係 節末問題 3節 高次方程式 (1) 因数定理 (2) 簡単な高次方程式 節末問題 4節 式と証明 (1) 恒等式 (2) 不等式の証明 節末・章末問題 [中間試験]	中間試験5月26日(火)～28日(木) <範囲> 数学 1章 <到達目標> 教科書の学習内容を理解し、これを用いて例題から節末・章末問題、およびセンター入試レベルの問題が解けるようにする。 グラフと方程式の関係を理解する
	5	【 数学B】 第1章 数列 1節 数列 (1) 数列 (2) 等差数列 (3) 等差数列の和 (4) 等比数列 (5) 等比数列の和 (6) 和の記号 (7) いろいろな数列 第2章 漸化式と数学的帰納法 (1) 漸化式 (2) 数学的帰納法 節末・章末問題 [期末試験]	期末試験7月1日(水)～3日(金) <範囲> 数学B 1章 <到達目標> 教科書の学習内容を理解し、これを用いて例題から節末・章末問題、およびセンター入試レベルの問題が解けるようにする。 数列の概念を入れ、漸化式・帰納法などを、複雑な文章でも、正確に読み取り、理解する。
	6	第2章 図形と方程式 1節 点と直線 (1) 2点間の距離 (2) 内分点・外分点 (3) 直線の方程式 (4) 2直線の位置関係 節末問題	
2 学 期	8	【 数学 】 第2章 図形と方程式 2節 円 (1) 円の方程式 (2) 円と直線 節末問題 3節 軌跡と領域 (1) 軌跡の方程式 (2) 不等式の表す領域 (3) 連立方程式の表す領域 節末・章末問題 【 数学 】 第3章 三角関数 1節 一般角の三角関数 2節 加法定理 節末・章末問題 [中間試験]	数学 試験 <範囲> 数学 2章 中間試験10月6日(火)～8日(木) <範囲> 数学 3章 <到達目標> 教科書の学習内容を理解し、これを用いて例題から節末・章末問題、およびセンター入試レベルの問題が解けるようにする。
	9	【 数学B】 第2章 ベクトル 1節 平面上のベクトル (1) 意味 (2) 加法・減法・実数倍 (3) 成分 (4) 内積 2節 ベクトルの応用 (1) 位置ベクトル (2) ベクトル方程式 (3) 図形への応用 3節 空間におけるベクトル (1) 空間座標 (2) 空間のベクトル (3) 空間図形 節末・章末問題 [期末試験]	期末試験12月7日(月)～9日(水) <範囲> 数学B 2章 <到達目標> 教科書の学習内容を理解し、これを用いて例題から節末・章末問題、およびセンター入試レベルの問題が解けるようにする。
	10	【 数学 】 第4章 指数関数と対数関数 1節 指数関数 (1) 指数法則 (2) 累乗根 (3) 指数の拡張 (4) グラフ	位置ベクトルの有用性を理解する
	11		
	12		

学期	月	授業計画	到達目標(定期試験範囲)
学 期	1	2節 対数関数 (1) 対数とその性質 (2) 関数とグラフ (3) 常用対数 節末・章末問題 [統一試験]	統一試験 <範囲> 数学 4章 <到達目標> 教科書の学習内容を理解し、これを用いて例題から節末・章末問題、およびセンター入試レベルの問題が解けるようにする。
	2	第5章 微分と積分 1節 微分係数と導関数 (1) 微分係数 (2) 導関数 2節 導関数の応用 (1) 接線 (2) 関数の増減と極大・極小 (3) 関数の最大・最小 (4) 方程式・不等式への応用 3節 積分 (1) 不定積分 (2) 定積分 (3) 面積 節末・章末問題 [学年末試験]	指数と対数の関係を理解する
	3	数学 ・A, ・Bのセンター入試レベルの問題演習	学年末試験 3月3日(水)~5日(金) <範囲> 数学 5章 <到達目標> 教科書の学習内容を理解し、これを用いて、センター入試のこの分野の問題がわかって解けるようにする。 グラフの概形と面積計算の理解

学習上のアドバイス

- ・勉強は教科書を中心に、教科書準拠の問題集で復習する。
- ・計算力は問題を解くことによって身につく。多くの問題を正確に迅速に解く練習をする。
- ・授業の予習・復習は必要であるが、時間がどうしてもとれないときは復習だけでも行う。
- ・授業用ノートを用意し内容を毎時間しっかり整理してとり、理解に努める。
- ・定期試験・模擬試験用ノートを用意し、問題内容の把握と解法パターンの定着、解答作成のトレーニングを行う。

評価の観点および方法

- (1)定期試験(中間試験・期末試験)、実力試験
 - (2)課題・宿題、その他の小テスト
 - (3)遅刻・欠課等の勤怠状況
 - (4)意欲的な授業参加・学習態度
- 以上4項目を総合的に判断し、評価します。

推薦参考書・問題集等

- ・高校数学の基本から応用までまんべんなく入っているもの。
- ・自分がやっていけそうなものを選ぶ。

<参考書>

- ・チャート式 基礎からの数学 +B (数研出版)通称「青チャート」数学 +B 通称「赤チャート」
- ・マセマ出版社のシリーズ:超基礎から入試まで全てのレベルがあり、解説が丁寧です。
- ・ニューアクション 数学 +B(東京書籍):日常からセンター試験の繋ぎの参考書です。

<問題集>

- ・ニュークオリティ数学 +B:東京書籍が出している教科書傍用の問題集です。
- ・ニューパワーアップ数学 +B:教科書傍用で自学自習しやすい充実した解答・解説。

履修学年	2	履修コース	類(理系)	履修条件	必修	単位数	6
教科	数学			科目	数学・数学B		
教科書 副教材	高等学校数学 (東京書籍)・高等学校数学B (東京書籍) ニュースコープ 数学・B(東京書籍)						

学期	月	授業計画	到達目標(定期試験範囲)
1 学 期	4	【数学】 第1章 式の計算と方程式 1節 整式の除法と分数式 (1) 整式の除法 (2) 分数式とその演算 節末問題 2節 2次方程式 (1) 複素数とその演算 (2) 解の公式 (3) 2次方程式の解と係数の関係 節末問題 3節 高次方程式 (1) 因数定理 (2) 簡単な高次方程式 節末問題 4節 式と証明 (1) 恒等式 (2) 不等式の証明 節末・章末問題 [中間試験]	中間試験5月26日(火)～28日(木) <範囲> 数学 1章 <到達目標> 教科書の学習内容を理解し、これを用いて例題から節末・章末問題、およびセンター入試レベルの問題が解けるようにする。 グラフと方程式の関係を理解する
	5	【数学B】 第1章 数列 1節 数列 (1) 数列 (2) 等差数列 (3) 等差数列の和 (4) 等比数列 (5) 等比数列の和 (6) 和の記号 (7) いろいろな数列 第2章 漸化式と数学的帰納法 (1) 漸化式 (2) 数学的帰納法 節末・章末問題 [期末試験]	期末試験7月1日(水)～3日(金) <範囲> 数学B 1章 <到達目標> 教科書の学習内容を理解し、これを用いて例題から節末・章末問題、およびセンター入試レベルの問題が解けるようにする。 数列の概念を入れ、漸化式・帰納法などを、複雑な文章でも、正確に読み取り、理解する。
	6	第2章 図形と方程式 1節 点と直線 (1) 2点間の距離 (2) 内分点・外分点 (3) 直線の方程式 (4) 2直線の位置関係 節末問題	
2 学 期	8	【数学】 第2章 図形と方程式 2節 円 (1) 円の方程式 (2) 円と直線 節末問題 3節 軌跡と領域 (1) 軌跡の方程式 (2) 不等式の表す領域 (3) 連立方程式の表す領域 節末・章末問題 【数学】 第3章 三角関数 1節 一般角の三角関数 2節 加法定理 節末・章末問題 [中間試験]	数学 試験 <範囲> 数学 2章 中間試験10月6日(火)～8日(木) <範囲> 数学 3章 <到達目標> 教科書の学習内容を理解し、これを用いて例題から節末・章末問題、およびセンター入試レベルの問題が解けるようにする。
	9	【数学B】 第2章 ベクトル 1節 平面上のベクトル (1) 意味 (2) 加法・減法・実数倍 (3) 成分 (4) 内積 2節 ベクトルの応用 (1) 位置ベクトル (2) ベクトル方程式 (3) 図形への応用 3節 空間におけるベクトル (1) 空間座標 (2) 空間のベクトル (3) 空間図形 節末・章末問題 [期末試験]	期末試験12月7日(月)～9日(水) <範囲> 数学B 2章 <到達目標> 教科書の学習内容を理解し、これを用いて例題から節末・章末問題、およびセンター入試レベルの問題が解けるようにする。
	10	【数学】 第4章 指数関数と対数関数 1節 指数関数 (1) 指数法則 (2) 累乗根 (3) 指数の拡張 (4) グラフ	位置ベクトルの有用性を理解する
	11	12	

学期	月	授業計画	到達目標(定期試験範囲)
学 期	1	2節 対数関数 (1) 対数とその性質 (2) 関数とグラフ (3) 常用対数 節末・章末問題 [統一試験]	統一試験 <範囲> 数学 4章 <到達目標> 教科書の学習内容を理解し、これを用いて例題から節末・章末問題、およびセンター入試レベルの問題が解けるようにする。
	2	第5章 微分と積分 1節 微分係数と導関数 (1) 微分係数 (2) 導関数 2節 導関数の応用 (1) 接線 (2) 関数の増減と極大・極小 (3) 関数の最大・最小 (4) 方程式・不等式への応用 3節 積分 (1) 不定積分 (2) 定積分 (3) 面積 節末・章末問題 [学年末試験]	指数と対数の関係を理解する
	3	数学 A, Bのセンター入試レベルの問題演習	学年末試験 3月3日(水)~5日(金) <範囲> 数学 5章 <到達目標> 教科書の学習内容を理解し、これを用いて、センター入試のこの分野の問題がわかって解けるようにする。 グラフの概形と面積計算の理解

学習上のアドバイス

- ・勉強は教科書を中心に、教科書準拠の問題集で復習する。
- ・計算力は問題を解くことによって身につく。多くの問題を正確に迅速に解く練習をする。
- ・授業の予習・復習は必要であるが、時間がどうしてもとれないときは復習だけでも行う。
- ・授業用ノートを用意し内容を毎時間しっかり整理してとり、理解に努める。
- ・定期試験・模擬試験用ノートを用意し、問題内容の把握と解法パターンの定着、解答作成のトレーニングを行う。

評価の観点および方法

- (1)定期試験(中間試験・期末試験)、実力試験
 - (2)課題・宿題、その他の小テスト
 - (3)遅刻・欠課等の勤怠状況
 - (4)意欲的な授業参加・学習態度
- 以上4項目を総合的に判断し、評価します。

推薦参考書・問題集等

- ・高校数学の基本から応用までまんべんなく入っているもの。
- ・自分がやっていけそうなものを選ぶ。

<参考書>

- ・チャート式 基礎からの数学 +B (数研出版)通称「青チャート」数学 +B 通称「赤チャート」
- ・マセマ出版社のシリーズ:超基礎から入試まで全てのレベルがあり、解説が丁寧です。
- ・ニューアクション 数学 +B(東京書籍):日常からセンター試験の繋ぎ的参考書です。

<問題集>

- ・ニュークオリティ数学 +B:東京書籍が出している教科書傍用の問題集です。
- ・ニューステップアップ数学 +B:教科書傍用で自学自習しやすい充実した解答・解説。

履修学年	2	履修コース	類	履修条件	必修	単位数	3
教科	数学			科目	数学		
教科書 副教材	高等学校数学 (東京書籍) ニュージャスト 数学 (東京書籍)						

学期	月	授業計画	到達目標(定期試験範囲)
1 学 期	4	1章 方程式・式と証明 1節 整式の除法と分数式 (1)整式の除法 (2)分数式とその計算	<p>中間試験5月26日(火)～28日(木) <範囲・到達目標> 整式・2次程度の分数式の四則計算が自由に行えるようにする。 解の範囲を実数から複素数の範囲まで拡張する意義を知らせる。また、解の判別式や解と方程式の係数の関係を理解させ、式の見方・考え方を深める。 複2次式と因数定理による高次方程式の解法を知らせる。</p> <p><学習ポイント> 問題を正確迅速に解く訓練は必須です。多くの基礎演習で、計算力と論理性を身につける。</p> <p>期末試験7月1日(水)～3日(金) <範囲・到達目標> 平面図形の性質を調べ、座標を計算によって求める。 直線や円が条件を満たす点の集合として表せることを理解する。</p> <p>1年次で学習した数学・Aの上に数学 があります。不明なところがあれば後回しにせず、勇気をもって1年次までさかのぼり、それでも不明ならば中学までさかのぼって調べよう。その上で教員に聞こう。</p>
	5	2節 2次方程式 (1)複素数とその演算 (2)解の公式 (3)解と係数の関係	
	5	3節 高次方程式 (1)因数定理 (2)簡単な高次方程式	
	5	4節 式と証明 (1)恒等式 (2)不等式の証明	
	5	2章 図形と方程式 1節 点と直線 (1)2点間の距離 (2)内分点・外分点 (3)直線の方程式 (4)2直線の関係	
	6	2節 円 (1)円の方程式 (2)円と直線	
	7	3節 軌跡と領域 (1)軌跡の方程式 (2)不等式の表す領域 (3)連立不等式の表す領域	
2 学 期	8	3章 三角関数 1節 三角関数	<p>中間試験10月6日(火)～8日(木) <範囲・到達目標> 三角比から三角関数へと発展している。内容としては、一般角および弧度法を扱い、扇形の面積や弧の長さを求め、グラフが活用できるようにする。また、三角関数を方程式ととらえることができるようにする。 予習・復習は必要不可欠です。1時間の授業に1時間ずつの予・復習を習慣化を図りましょう。</p> <p>期末試験12月7日(月)～9日(水) <範囲・到達目標> 三角関数の和差を積の関係を調べ、三角関数の値を求めるなどに応用できるようにする。 正弦と余弦の関数の和が正弦の関数で表わされ方程式に活用できるようにする。</p>
	9	(1)一般角	
	10	(2)三角関数とそのグラフ (3)三角関数の性質 (4)三角関数のグラフ (5)三角関数を含む方程式・不等式	
	11	2節 加法定理 (1)加法定理 (2)2倍角の公式 (3)三角関数の合成	
	12		

学期	月	授業計画	到達目標(定期試験範囲)
学 期	1	4章 指数関数・対数関数	学年末試験 3年:1月27日(水)~29日(金) 1・2年:3月3日(水)~5日(金) <範囲・到達目標> 指数法則が有理数,実数まで拡張して,指数関数を扱えるようにする。また,グラフからその性質を導き,方程式や不等式などに応用できるようにする。 対数関数のグラフが直線 $y =$ に関して指数関数のグラフと対称であることを知り,グラフが描けるようにする。 板書をしっかりと,授業ごとにノート整理をする。頭で解ったつもりは駄目です。条件を満たすグラフを描くことが,理解の近道です。
	2	1節 指数関数 (1)指数法則 (2)累乗根 (3)指数の拡張 (4)指数関数とそのグラフ	
	3	2節 対数関数 (1)対数とその性質 (2)対数関数とそのグラフ (3)常用対数	

学習上のアドバイス

現代社会は,科学・技術の発展によって支えられている。その基礎にあるのが数学であることを理解し,数学が実生活で果たす役割を知ることができるとともに,数学の探求時に味わう喜びや楽しさにふれることによって,身近にある通信機器や電化製品の構造の原理や,地球や宇宙の天文学的数字にも目を向け,興味をもち考えることが出来る力を身につけてほしい。また,これまで学んだ三角比や2次関数などの初等的段階から,式と証明・高次方程式,図形と方程式,三角関数,指数関数と対数関数,微分と積分といった動的で高次的な数学へ向け飛躍し,変化するデータを的確に捉え処理するための原理を学んでいく。

評価の観点および方法

関心・意欲・態度

数学の問題を自らの力で解く意識を最後まで持っているか。授業において理解するまで発言・質問をし,積極的に学習に取り組んでいいるかどうか。高校生としての心構え態度を身につけているか。

理解度・定着度

定期考査・小テストなど数学を解く力が身につけているかどうか。机間巡視により,問題の解き方を観察し,理解しているかどうか確認する。

表現・処理

三角比・三角関数,微分・積分,座標の重要性を知りことにより,事象を数学的に考え,表現し処理する仕方や方法を身につけ,的確に問題解決ができていいるかどうか。身近なものの測量のしかたの基礎を学ぶことにより,数学の重要性や必要性を理解しているかどうか。

知識・理解

単に数学的な知識だけでなく,その本質をきちんと理解しているか。

以上の観点に基づき,学習状況観察,課題レポート,ペーパーテスト等を勘案し100点法により学期ごとに評価を出します。

推薦参考書・問題集等

ニューアクション 数学 東京書籍);教科書の徹底理解を目的とした問題集です。

履修学年	2年	履修コース	特進・選抜・ 類理系	履修条件	必修	単位数	4
教科	理科			科目	物理		
教科書 副教材	教科書 高等学校 改訂 物理 (第一学習社) 副教材 セミナー物理 + (第一学習社), ネオパルノート物理 (第一学習社)						

学期	月	授業計画	到達目標(定期試験範囲)
1 学期	4	第 章 力と運動 第1節 物体の運動 日常に起こる物体の運動 運動の表し方 落下運動 節末問題	中間試験 5月26日(火)～28日(木) < 範囲・到達目標 > 重力、摩擦力、空気抵抗、水の抵抗、水圧と浮力、平均の速さ、瞬間の速さ、等速運動、変位、速度、ベクトル、自由落下、重力加速度、鉛直投げ下ろし、力の合成と分解、作用反作用の法則
	5	第2節 力のはたらきとつりあい 力のつりあい いろいろな力 大きさのある物体にはたらく力 第3節 運動の法則 運動の3法則 運動方程式の利用 節末問題	< 学習のポイント > 直線運動について、変位、速度、加速度などの物理量を用いて運動を表すことを理解する。 質点や剛体にはたらく力について理解する。
	6	第2章 エネルギー 第1節 仕事と力学的エネルギー 仕事と仕事率 位置エネルギーと運動エネルギー 力学的エネルギー保存の法則 節末問題	期末試験 7月1日(水)～3日(金) < 範囲・到達目標 > 慣性の法則、運動の法則、運動方程式、運動方程式の立て方・解き方、エネルギー、力学的エネルギー保存の法則
	7	第2節 熱とエネルギー 温度 熱 気体の変化と熱 節末問題	< 学習のポイント > 運動方程式を立てるにあたって、今まで学習した重力、作用・反作用の法則、糸の張力、ばねの弾性力、垂直抗力、摩擦力などを用いて求める。
2 学期	8		中間試験 10月6日(火)～8(木) < 範囲・到達目標 > 電荷、電気素量、電流、自由電子、電圧、抵抗、抵抗率、エネルギー保存の法則、熱効率、周期、振動数、波長、振幅
	9	第3節 電気とエネルギー 電気と抵抗 電気とエネルギー 第4節 エネルギーの変換と保存 エネルギーの種類と変換 章末問題	< 学習のポイント > オームの法則を学習し、導体の抵抗値がどのように決まるかを知る。 エネルギーは相互に変換し得るが、その総量は一定に保たれ保存の法則が成り立つことを認識する。
	10	第 章 波動 第1節 波の性質 身近に見られる波動現象 波の重ね合わせ 波の伝わり方 節末問題	期末試験 12月7日(月)～9日(水) < 範囲・到達目標 > 重ね合わせの原理、定常波、固定端反射、自由端反射、固有振動、開管、閉管、ドップラー効果、光の速さ、回折、全反射、臨界角
	11	第2節 音波 音の伝わり方 物体の振動 ドップラー効果 節末問題	< 学習のポイント > 波の例として音波を扱い、回折、反射、屈折、波の干渉に加えて、ドップラー効果や音波を発生する物体の振動について理解する。
	12	第3節 光波 光の進み方 レンズ スペクトル	

学期	月	授業計画	到達目標(定期試験範囲)
3 学 期	1	光の回折と干渉 節末問題 章末問題	学年末試験 3月3日(水)～5日(金) < 範囲・到達目標 > レンズの公式、実像、虚像、光の分散、光の散乱、スペクトル、ヤングの実験、回折格子、薄膜の干渉 < 学習のポイント > レンズによる光の進み方や光学現象について学習する。電気や磁気に関する基礎的な概念や法則を理解する。現代生活に欠かすことのできない情報通信について、電波の基礎的な性質を学び、具体例により関心を高める。
	2	第 章 電気 第1節 電気の利用 電気と生活 モーターと発電機 直流と交流	
	3	第2節 電流と情報通信 電波 情報通信 章末問題	

学習上のアドバイス
<p>物理を学ぶには、物理学の基本となる原理・法則理・法則を確実に理解することが必要である。それには、教科書の例題や問いを基本として、章末の複合問題や問題集にも積極的に取り組み、自ら考え問題解答を繰り返すことが重要である。この過程を積み重ねることで、物理学をより体系的にとらえることができるようになり、確実に実力が身に付いていく。</p>
評価の観点および方法
定期試験(中間試験)(期末試験)の結果 課題等の提出状況および達成度 欠課・遅刻などの出席状況 授業態度
推薦参考書・問題集等
参考書 チャート式 物理 理解しやすい物理 橋元流物理の大原則 問題集 セミナー 物理 + (副教材) らくらくマスター物理

履修学年	2年	履修コース	類	履修条件	選択	単位数	3
教科	理科			科目	化学		
教科書 副教材	教科書化学（実教出版）、副教材 セミナー化学 +（第一学習社）アクセスノ・ト化学（実教出版）						

学期	月	授業計画	到達目標(定期試験範囲)
1 学期	4	* 物質と人間生活 化学とその役割 物質の探究	中間試験 5月26日(火)～28日(木) < 範囲・到達目標 > ・原子の構造について理解する。 ・同位体と放射性同位体について理解する。 ・電子配置とイオンについて理解する。 ・分子と分子式について理解する。 ・物質の構成と表し方について理解する。
	5	* 物質の構成粒子 原子の構造と同位体 電子配置とイオン 単原子イオンと多原子イオン 分子と分子式 物質の構成と表し方 元素の周期表	
	6	* 物質と化学反応式 原子量・分子量と式量 物質量 化学反応式と量的関係 溶液の濃度	期末試験 7月1日(水)～3日(金) < 範囲・到達目標 > ・原子量、分子量、式量について理解する。 ・物質量の単位molについて理解する。 ・化学反応式と量的関係を理解する。 ・溶液濃度の単位について理解する。
	7		
2 学期	8	* 基本法則に関連した化学史 質量保存の法則 定比例の法則 ドルトンの原子説 倍数比例の法則 気体反応の法則 アボガドロの分子説	中間試験 10月6日(火)～8(木) < 範囲・到達目標 > ・化学の基本法則について理解する。 ・反応熱の種類について理解する。 ・熱化学方程式について理解する。 ・ヘスの法則について理解する。 ・生成熱と反応熱の関係について理解する。
	9	* 化学反応と熱 反応熱と熱化学方程式 ヘスの法則	
	10	* 酸と塩基 酸と塩基 水素イオン濃度とpH 中和 塩 中和滴定	期末試験 12月7日(月)～9日(水) < 範囲・到達目標 > ・酸と塩基の定義について理解する。 ・水素イオン濃度とpHについて理解する。 ・中和反応式について理解する。 ・塩と塩の種類について理解する。 ・中和滴定について理解する。
	11		
12		< 学習のポイント > ・アレニウスの定義。 ・ブレンステッドの定義。 ・水素イオン濃度とpH。 ・中和反応式と塩。 ・塩の種類と塩の水溶液の性質。 ・中和滴定実験。	

学期	月	授業計画	到達目標(定期試験範囲)
3 学 期	1	* 酸化還元反応 酸化と還元 酸化剤・還元剤 酸化還元反応式	学年末試験 3月3日(水)～5日(金) < 範囲・到達目標 > ・酸化と還元の見義について理解する。 ・酸化数について理解する。 ・酸化剤、還元剤について理解する。 ・酸化還元イオン反応式について理解する。 ・金属のイオン化列と反応性について理解する。 ・電池について理解する。 ・電気分解と量的関係について理解する。 < 学習のポイント > ・酸化と還元の見義。 ・電池の原理。 ・酸化数の見義。 ・電池の両極の反応式。 ・酸化数の計算。 ・電解の原理。 ・酸化剤、還元剤。 ・電解の両極の反応式。 ・イオン反応式。 ・ファラデーの法則。 ・酸化還元反応式。 ・電解と量的関係。 ・金属のイオン化列。
	2	金属のイオン化傾向と酸化還元 ボルタ電池 ダニエル電池 乾電池 鉛蓄電池 電池の原理と種類	
	3	電気分解の原理 ファラデーの法則	

学習上のアドバイス	
* 授業の予習復習をしてください。教科書をよく読むことが大切です。 * 一つ一つ理解しながら学習を進めていくこと。理解不十分な箇所は必ず質問し解決をしてください。 * 問題演習を数多くしてください。	
評価の観点および方法	
* 定期試験(中間試験・期末試験) * 課題提出(演習プリント・問題集・レポート等) * 授業態度(ノート記入・豆テスト等)	
推薦参考書・問題集等	
* セミナー化学 + * アクセスノート化学	

履修学年	2年	履修コース	特・選文系 類文系	履修条件	選 択	単位数	4単位
教 科	地理歴史			科 目	日本史B		
教科書 副教材	教科書 『詳説 日本史 改訂版』山川出版 副教材 『最新 日本史図表』第一学習社 『詳説 日本史 10分間テスト』山川出版						

学期	月	授業計画	到達目標(定期試験範囲)
1 学 期	4	第10章 近代日本とアジア 4 恐慌の時代 5 軍部の台頭 6 第二次世界大戦 第11章 占領下の日本 1 占領と改革 2 冷戦の開始と講和	中間試験 5月26日(火)～28日(木) <教科書範囲> <10分間テスト範囲> ・第10章 4～6 71～79 ・第11章 1・2 ・第12章 1・2 ・第13章 1・2
	5	第12章 高度成長の時代 1 55年体制 2 経済復興から高度成長へ 第13章 激動する世界と日本 1 経済大国への道 2 冷戦終結と日本社会の動揺	<学習のポイント> ・近現代の政治・外交などに関連した内閣・条約などを 中心におさえておきたい。 ・日本の中国侵略の原因ともなった慢性的不況・戦後日 本経済の民主化・高度経済成長など、近現代の経済 史を政治史・対外関係史と関連させておさえておきたい。
	6	第1章 日本文化のあけぼの 1 文化のはじまり 2 農耕社会の成立 3 古墳とヤマト政権 第2章 律令国家の形成 1 飛鳥の朝廷 2 律令国家の形成 3 平城京の時代 4 天平文化 5 平安朝廷の形成	期末試験 7月1日(水)～3日(金) <教科書範囲> <10分間テスト範囲> ・第1章 1～3 1～4 ・第2章 1・2 5～8 <学習のポイント> ・日本の古代社会形成の背景・成立過程・特徴を整理 しておきたい。 ・縄文文化～白鳳文化までの文化史を政治史と関連させ ておさえておきたい。 ・教科書中の史料・写真等も十分理解しておきたい。
2 学 期	8	第3章 貴族政治と国風文化 1 摂関政治 2 国風文化 3 荘園と武士	中間試験 10月6日(火)～8(木) <教科書範囲> <10分間テスト範囲> ・第2章 3～5 9～13 ・第3章 1～3 14～17 ・第4章 1～5 18～24
	9	第4章 中世社会の成立 1 院政と平氏の台頭 2 鎌倉幕府の成立 3 武士の社会 4 蒙古襲来と幕府の衰退 5 鎌倉文化	<学習のポイント> ・藤原氏を中心に、古代の政治史を整理しておきたい。 ・地方の動向と土地制度史の変遷を、武士の登場と関 連させておさえておきたい。 ・武家政権の成立過程とその特徴をまとめておきたい。 ・北条氏を中心に鎌倉時代の政治史を整理しておきたい。 ・天平文化～鎌倉文化までを、仏教史と関連させておさ えておきたい。
	10	第5章 武家社会の成長 1 室町幕府の成立 2 幕府の衰退と庶民の台頭 3 室町文化 4 戦国大名の登場	期末試験 12月7日(月)～9日(水) <教科書範囲> <10分間テスト範囲> ・第5章 1～4 25～32 ・第6章 1・2 33～35
	11	第6章 幕藩体制の確立 1 織豊政権 2 桃山文化 3 幕藩体制の成立	<学習のポイント> ・建武の新政から織豊政権までを、時の権力者の政策を 中心におさえておきたい。 ・また、庶民の台頭を政治史および文化史の両面から整理 しておきたい。 ・室町時代から織豊政権までの対外関係史に着目し、要 点を整理しておきたい。
	12		

学期	月	授業計画	到達目標(定期試験範囲)
3 学 期	1	第7章 幕藩体制の確立 1 幕政の安定 2 経済の発展 3 元禄文化	学年末試験 3月3日(水)～5日(金) <教科書範囲> <10分間テスト範囲> ・第6章 3 36～39 ・第7章 1～3 40～44 ・第8章 1 45・46 <学習のポイント> ・徳川歴代将軍を軸に、その時代の特徴・政策・問題点等を整理しておきたい。 ・農業・商業などの産業史にも着目しておきたい。 ・文化は、文学・絵画などの他、学問の発達に着目して、その系統・特徴を整理しておきたい。
	2	第8章 幕藩体制の動揺 1 幕政の改革 2 幕府の衰退 3 化政文化	
	3		

学習上のアドバイス

- 1 疑問をもって授業に取り組むことが大切である。時代背景や経緯・結果・影響などを整理し、ひとつの歴史的事象を系統的・総合的に把握することが必要である。
- 2 歴史学習は、時間的な視点と空間的な視点の両面からとらえることが必要である。そのためには、教科書以外に、地図・図表・写真などの資料を活用するとよい。「資料を読むこと」「資料に触れること」「文化財をみること」は、歴史学習のみならず、大学入試にも有効である。
- 3 ノート作りを工夫したい。ノートは、単に板書事項を写すだけでなく、あとで見返したときに理解できるよう丁寧に整理しておきたい。授業展開の中で重要と思われる事項はメモをとり、用語集を活用して知識を増やしておきたい。

評価の観点および方法

- 1 定期試験(中間試験および期末試験)・小テスト等の到達度。
- 2 宿題・提出物等の達成度。
- 3 授業遅刻・早退・欠課等の勤怠状況。
- 4 授業態度

以上の4項目について総合的に判断し、評価する。

推薦参考書・問題集等

- 1 用語集 『日本史B 用語集』山川出版
- 2 参考書 『詳説 日本史研究』山川出版
『NEW 石川 日本史B講義の実教中継』1～4 語学春秋社
- 3 問題集 『センター試験実践問題集』駿台文庫
『きめる！ センター日本史B』Gakken
『樋口センター日本史Bの実況中継』語学春秋社
『実力をつける 日本史100題』Z会出版

履修学年	第2学年	履修コース	特・選・	履修条件	文系・選択	単位数	4単位
教科	地歴科			科目	世界史B		
教科書 副教材	『詳説世界史 改訂版』山川出版社			『最新世界史図説タペストリー 六訂版』帝国書院 『詳説世界史10分間テスト 改訂版』山川出版社			

学期	月	授業計画	定期試験範囲
1 学 期	4	第12章 欧米における近代国民国家の発展 1 ウィーン体制 2 ヨーロッパの再編 3 アメリカ合衆国の発展 4 19世紀欧米の文化	中間試験5月26日(火)～28日(木) <教科書範囲> ・第9章1～4(1年次復習) ・第12章1～4 ・第13章1 <10分間テスト範囲> ・No.40～44(1年次復習) ・No.53～59. ・No.60. タペストリー範囲 ・p.142～152(1年次復習) ・p.176～199 ・p.206～207
	5	第13章 アジア諸地域の動揺 1 オスマン帝国支配の動揺とアラブの目覚め 2 南アジア・東南アジアの植民地化 3 東アジアの激動	
	6	第14章 帝国主義とアジアの民族運動 1 帝国主義と列強の展開 2 世界分割と列強対立 3 アジア諸国の改革と民族運動	期末試験7月1日(水)～3日(金) <教科書範囲> ・第10章1～3(1年次復習) ・第13章2～3 ・第14章1～3 <10分間テスト範囲> ・No.45～48(1年次復習) ・No.60～62 ・No.63～67 タペストリー範囲 ・p.153～165(1年次復習) ・p.200～217
	7	第15章 二つの世界大戦 1 第一次世界大戦とロシア革命	
	8	2 ヴェルサイユ体制下の欧米諸国	中間試験10月7日(水)～9日(金)
	9	3 アジア・アフリカ民族主義の進展 4 世界恐慌とファシズム諸国の侵略 5 第二次世界大戦	<教科書範囲> ・第11章1～3(1年次復習) ・第15章1～5 <10分間テスト範囲> ・No.49～52(1年次復習) ・No.68～75 タペストリー範囲 ・p.166～175(1年次復習) ・p.218～243
	10	第16章 冷戦とアジア・アフリカ世界の自立 1 東西対立の始まりとアジア諸地域の自立 2 冷戦構造と日本・ヨーロッパの復興 3 第三世界の自立と危機 4 米・ソ両大国の動揺と国際経済の危機	
2 学 期	11	第17章 現代の世界 1 冷戦の解消と世界の多極化 2 ソ連・東欧社会主義圏の解体とアジア圏社会主義国の転換 3 第三世界の多元化と地域紛争 4 現代文明	期末試験12月7日(月)～9日(水) <教科書範囲> ・第16章1～4 ・第17章1～4 <10分間テスト範囲> ・No.76～79 ・No.80～81 タペストリー範囲 ・p.244～269
	12	序 章 先史の世界 第1章 オリентと地中海世界 1 古代オリент世界	

学期	月	授業計画	定期試験範囲
3 学 期	1	2 ギリシア世界 3 ローマ世界	学年末試験3月3日(水)～5日(金) <教科書範囲> ・序章、 ・第1章1～3 ・第2章1～4 <10分間テスト範囲> ・No.1 ・No.2～10 ・No.11～15 タペストリー範囲 ・p.2～11 ・p.48～81 ・p.143
	2	第2章 アジア・アメリカの古代文明 1 インドの古典文明 2 東南アジアの諸文明 3 中国の古典文明 4 南北アメリカ文明	
	3	第3章 東アジア世界の形成と発展 1 北方民族の活動と中国の分裂 2 東アジア文化圏の形成	

学習上のアドバイス

- (1) 歴史は理解すると楽しくなる。基本的で重要な用語を習得し、知識をつなげて「歴史の流れ」や「時代の枠組み」を理解すること。単元内の出来事の因果関係・流れを押さえ、既習の時代をすべてつなぐつもりで振り返り、変化や歴史的な意義を大局的に把握する。
教科書・資料集・参考書・用語集を精読する。
『詳説世界史10分間テスト』を活用し、重要語句・年代の正確な把握と定着をはかる(模範解答とともに問題文をおさえる)。
サブノートで基本事項を確認し、出来事の因果関係・流れを整理する。
実戦問題集は、問題文(リード文)と設問、解説を精読し、「歴史の流れ」や「時代の枠組み」「歴史的な意義」を多面的に把握する。
- (2) 歴史の理解には時間的視野と並んで空間的視野が不可欠である。教科書や『タペストリー』掲載の歴史地図を参照し、地理的条件との関連に注意すること。とくに東南アジア・アフリカ・ラテンアメリカ・中央アジアなどの周辺地域は、地図で位置を確認し、中国や欧米の動きと関連付けておさえる。

評価の観点および方法

- (1) 小テスト、定期試験(中間試験・期末試験)の到達度
 (2) 宿題等、提出物の達成度
 (3) 授業遅刻・早退・欠課等の勤怠状況
 (4) 授業態度
 以上4項目について総合的に判断し、評価する。

推薦参考書・問題集等

- (1) 用語集 『世界史B用語集』(山川出版社) 『必修世界史用語 A・B対応』(実教出版)
- (2) 参考書
 『ナビゲーター世界史B』1～4(山川出版社)
 『青木 NEW世界史B講義の実況中継』1～4(語学春秋社)
 『東進ブックス 荒巻の世界史の見取り図』既刊4冊(ナガセ)
 『詳説 世界史研究 改訂版』(山川出版社)
- (3) サブノート
 『流れ図で攻略 詳説世界史B 改訂版』(山川出版社)
- (4) 実戦問題集
 『青木 世界史B講義の実況中継 問題演習』1・2(語学春秋社)

履修学年	2	履修コース	類	履修条件	必修	単位数	3
教科	地歴			科目	日本史B		
教科書 副教材	教科書『詳説 日本史 改訂版』山川出版社 副教材『最新 日本史図表』第一学習社 『詳説 日本史 10分間テスト』山川出版社						

学期	月	授業計画	到達目標(定期試験範囲)	
1 学期	4	第10章 近代日本とアジア 6 第二次世界大戦	中間試験 5月26日(火)～28日(木) <範囲・到達目標> <教科書範囲> <10分間テスト範囲> ・第10章 6 73 ・第11章 1 74～76	
		第11章 占領下の日本 1 占領と改革 2 冷戦の開始と講和	<学習のポイント> ・戦中戦後の政治・外交などに関連した内閣・条約などを中心におさえておきたい。 ・日本の中国侵略から敗戦にいたる背景をおさえたい。 ・日本経済の戦後の民主化政策の動向を政治史・対外関係史と関連させておさえておきたい。	
	5	第12章 高度成長の時代 1 55年体制 2 経済復興から高度成長へ	期末試験 7月1日(水)～3日(金) <範囲・到達目標> <教科書範囲> <10分間テスト範囲> ・第11章 2 77～79 ・第12～13章	
		第13章 激動する世界と日本 1 経済大国への道 2 冷戦終結と日本社会の動揺	<学習のポイント> ・現代の政治・政党などに関連した国際関係・国内動向を中心におさえておきたい。 ・日本の高度経済成長によってもたらされた国際・国内の新しい動きを、公害や核問題などに関連させておさえておきたい。	
	6	7	第1章 日本文化のあけぼの 1 文化のはじまり 2 農耕社会の成立 3 古墳とヤマト政権	
2 学期	8	第2章 律令国家の形成 1 飛鳥の朝廷 2 律令国家の形成 3 平城京の時代 4 天平文化	中間試験 10月7日(水)～9(金) <範囲・到達目標> <教科書範囲> <10分間テスト範囲> ・第1章 1～3 1～4 ・第2章 1～4 5～11	
		5 平安朝廷の形成	<学習のポイント> ・日本の古代社会形成の背景・成立過程・特徴を整理しておきたい。 ・律令体制の形成と制度、社会生活などを理解し整理しておきたい。 ・縄文文化～天平文化までの文化史を特徴的な文物と関連させておさえておきたい。	
	9	10	第3章 貴族政治と国風文化 1 摂関政治	期末試験 12月7日(月)～9日(水) <範囲・到達目標> <教科書範囲> <10分間テスト範囲> ・第2章 5 12～13 ・第3章 1～3 14～17 ・第4章 1 18～19
			2 国風文化 3 荘園と武士	
	11	12	第4章 中世社会の成立 1 院政と平氏の台頭 2 鎌倉幕府の成立	<学習のポイント> ・律令国家の変貌の背景を地方の動向や土地制度史の遷、武士の台頭と関連させておさえておきたい。 ・平安時代の政治史と平行して実施された諸政策についてまとめておきたい。 ・密教文化～院政期の文化までを、仏教史と関連させておさえたい。

学期	月	授業計画	到達目標(定期試験範囲)
3 学 期	1	3 武士の社会 4 蒙古襲来と幕府の衰退 5 鎌倉文化	学年末試験 1・2年:3月3日(水)～5日(金) <範囲・到達目標> <教科書範囲> <10分間テスト範囲> ・第4章 2～5 20～24 ・第5章 1～3 25～30 <学習のポイント> ・武家政権の成立過程とその盛衰をまとめておきたい。 ・鎌倉時代後半の社会経済の成長と元寇にともなう武家社 会の変化を関連させておきたい。 ・庶民の成長を産業の発達と一揆の多発の視点から整理 おきたい。 ・室町幕府と守護大名の関係をまとめておきたい。 ・鎌倉文化から室町文化への変化と拡大をおさえておきた
	2	第5章 1 室町幕府の成立 2 幕府の衰退と庶民の台頭	
	3	3 室町文化 4 戦国大名の登場	

学習上のアドバイス

類の日本史の学習にあたっては、1年次からの継続として前半は現代史から開始し、後半は3年次に向けて原始からの学習を重点的に行なう

各自の部活動との両立を図るためにも、意欲をもって授業や学習に臨むとともに、とくに以下の3点に留意して進めることでより理解が深まっていく。

1. 日本の通史を事実に基づき把握し、歴史の構造とその変化の過程を理解する。
2. 歴史を現代の課題と関連して主体的に学び、歴史的思考力を養う。
3. 日本の歴史を世界の動きと関連して把握し、国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を身につける。

授業は基本的に講義形式で行うが、単元によっては視覚に訴えることにより、よりリアルに受けとめるために映像教材を利用した授業を展開することもある。

評価の観点および方法

評価の観点および方法は

- (1)定期試験(中間試験・期末試験)、実力試験・小テストの到達度
- (2)宿題等、提出物の達成度
- (3)授業遅刻・早退・欠課等の勤怠状況
- (4)授業態度

以上の4項目について総合的に判断し、評価する。

また生徒各自の学習状況・成績評価に応じて、補習出席・補習課題の提出などを課す場合もある。

推薦参考書・問題集等

- 1 用語集 『日本史B 用語集』山川出版
- 2 参考書 『詳説 日本史研究』山川出版
『NEW 石川 日本史B講義の実教中継』1～4 語学春秋社
- 3 問題集 『きめる！ センター日本史B』Gakken
『樋口センター日本史Bの実況中継』語学春秋社

履修学年	2年男子	履修コース	全コース	履修条件	必修	単位数	2
教科	保健体育			科目	体育		
教科書 副教材							

学期	月	授業計画	到達目標(定期試験範囲)
1 学 期	4	オリエンテーション ・授業内容の説明と諸注意 集団行動 ・姿勢、礼、整列隊形、列の増減、方向転換	中間試験5月26日(火)～28日(木) <範囲・到達目標>
	5	新体力テスト ・新体力テストの測定 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横飛び、シャトルラン、50M走、立ち幅跳び、ハンドボール投げの8種類	<学習ポイント>
	6	バレーボール ・対人パス ・サーブ ・ゲーム ・スキルテスト 水泳 ・クロール スタート方法、キック、ストローク、コンビネーション、呼吸方法、記録測定	期末試験7月1日(水)～3日(金) <範囲・到達目標> <学習ポイント>
2 学 期	8		中間試験10月7日(水)～9日(金) <範囲・到達目標>
	9	ソフトボール ・守備、送球法、攻撃、バッティング、バント、走塁、ゲーム、テスト	<学習ポイント>
	10		期末試験12月7日(月)～9日(水) <範囲・到達目標>
	11	陸上競技(長距離走) ・校内マラソン大会に向けての練習を兼ねてロードコースでのタイムトライアル。	<学習ポイント>
	12		

学期	月	授業計画	到達目標(定期試験範囲)
3 学 期	1	サッカー ・キック、ヘディング、ドリブル、パス、シュート、守備、 ルールと審判法、ゲーム	学年末試験 3年:1月27日(水)～29日(金) 1・2年:3月3日(水)～5日(金) <範囲・到達目標> <学習ポイント>
	2		
	3	バスケットボール ・パス ・ドリブル ・シュート ・ゲーム ・スキルテスト	

学習上のアドバイス

- ・集団的スポーツでは、チームにおける自己の役割を自覚し、互いに協力して練習やゲームができるようにするとともに、勝敗に対して公正な態度がとれるようにしましょう。
- ・個人的スポーツでは、自己の能力に応じて運動の技能を高め、競技したり、記録をたかめたりすることができるようになりましょう。
- ・練習場などの安全を確かめ、健康、安全に留意して練習やゲームができるようにしましょう。
- ・次の留意事項をしっかり守って、積極的な態度で授業に参加しましょう。
- ・移動～集合時間、授業終了後、次時へ影響がでないよう、時間厳守を心がけましょう。
- ・服装～学校指定の体育着、指定されたシューズを正しく着用しましょう。
- ・見学～病気、けが等で見学する時は、授業が始まる前に担当者へ届を提出し、許可をとりましょう。

評価の観点および方法

- ・評価については、授業態度(関心・意欲・態度)及び欠課、見学回数が大きく影響します。さらに、単元ごとに実施するタイムトライアルやスキルテスト、ゲーム中における貢献度などもくわえて総合的に判断し決定します。

推薦参考書・問題集等

履修学年	2年女子	履修コース	全コース	履修条件	必修	単位数	2
教科	保健体育			科目	体育		
教科書 副教材							

学期	月	授業計画	到達目標(定期試験範囲)
1 学 期	4	オリエンテーション 授業内容の説明と諸注意	中間試験 5月21日(水)～23日(金) <範囲・到達目標>
	5	集団行動 姿勢・礼・整列隊形・列の増減・方向転換	<学習ポイント>
	6	スポーツテスト 新体力テストの測定	期末試験 7月2日(水)～4日(金) <範囲・到達目標>
	7	ソフトボール キャッチボール・ティーバッティング・ゲーム	<学習ポイント>
	8	バスケットボール パス・シュート・ゲーム	中間試験 10月8日(水)～10日(金) <範囲・到達目標>
	9	陸上(長距離走) 校内マラソン大会に向けてタイムトライアル	<学習ポイント>
	10		期末試験 12月2日(火)～4日(木) <範囲・到達目標>
2 学 期	11		<学習ポイント>
	12		

学期	月	授業計画	到達目標(定期試験範囲)
3 学 期	1	バドミントン ラリー・サービス・ゲーム	学年末試験 3年:1月28日(水)~30日(金) 1・2年:3月4日(水)~6日(金) <範囲・到達目標>
	2		<学習ポイント>
	3		

学習上のアドバイス

- ・集団的スポーツでは、チームにおける自己の役割を自覚して、互いに協力して練習やゲームが進められるようにするとともに、勝敗に対して公正な態度がとれるようにしましょう。
- ・個人的スポーツでは、自己の能力に応じて運動の技能を高め、競技をしたり、記録を向上させることができるようにしましょう。
- ・健康・安全に留意して、積極的な姿勢で授業に参加しましょう。
- ・学校指定の体育着や、指示されたシューズを正しく着用しましょう。

評価の観点および方法

授業態度(関心・意欲・態度)および欠課・見学の回数が、評価に大きく影響します。さらに、単元毎に実施するスキルテストやタイムトライアル、ゲーム中における貢献度などを総合的に判断し、教科会を経て決定します。

推薦参考書・問題集等

履修学年	2年男子	履修コース	類	履修条件	必修	単位数	1
教科	体育			科目	武道		
教科書 副教材							

学期	月	授業計画	到達目標(定期試験範囲)
1 学 期	4	剣道 ・オリエンテーション 授業内容の説明 ・構え ・体さばき ・素振り ・基本打突	中間試験 5月27日(水)～29日(金) <範囲・到達目標>
	5	正面打ち(踏み込み足) 小手打ち 胸打ち ・防具の着装 ・仕掛け技 ・応用技 ・総合練習	<学習ポイント>
	6	柔道 ・オリエンテーション ・基本動作 姿勢と組み方 自然本体、右(左)自然体 ・くずしと体さばき (八方向) 前捌き・後ろ捌き 前回り捌き ・進退動作 ・受け身 前受身・後ろ受身・横受身 前回り受身	期末試験 7月1日(水)～3日(金) <範囲・到達目標>
	7		<学習ポイント>
	8	・对人的技能 投げ技 手技(体落とし)・腰技(払 い腰)・足技(大内刈・ 小内刈)	中間試験 10月7日(水)～9日(金) <範囲・到達目標>
	9	・おさえ技 けさ固め ・総合練習 掛かり練習 約束練習 自由練習	<学習ポイント>
	10		期末試験 12月7日(月)～9日(水) <範囲・到達目標>
2 学 期	11		<学習ポイント>
	12		

学期	月	授業計画	到達目標(定期試験範囲)
3 学 期	1		学年末試験 3年： 1月27日(水)～29日(金) 1・2年： 3月3日(水)～5日(金) <範囲・到達目標>
	2		
	3		
			<学習ポイント>

学習上のアドバイス

- ・週に1単位ということで、欠席や見学があると技能の取得度合いに差がついてしまうので注意が必要です。
- ・説明をよく聞き、反復練習を行うことによって技能の上達が速まります。

評価の観点および方法

- ・授業への参加態度や意欲、技能の習得具合、実技テスト等の総合評価をし、体育の評価に組み入れます

推薦参考書・問題集等

履修学年	2年女子	履修コース	類	履修条件	必修	単位数	1
教科	保健体育			科目	体育(ダンス)		
教科書 副教材							

学期	月	授業計画	到達目標(定期試験範囲)
1 学 期	4	・オリエンテーション 授業内容の説明と諸注意 ・基本姿勢 基本運動(歩く、走る、跳ぶ、ステップ)	中間試験5月26日(火)～28日(木) <範囲・到達目標> ・基本運動を連続して踊ることができるようにする。
	5	・からだほぐしの運動 ・現代的なリズムのダンス ・基本運動の連続 動きを組み合わせ、リズムに合わせて踊る。	<学習ポイント> ・基本運動の特徴を正確にとらえ、より美しく、つながる動きへ展開できるようにする。
	6		期末試験 <範囲・到達目標> ・「現代的なリズムのダンス」を覚え、踊れるようにする。
	7	・発表、鑑賞、評価	<学習ポイント> ・「現代的なリズムのダンス」通して、互いのよさを認め合い、練習したり、発表することにより、ダンスの楽しさや、喜びを味わう。
2 学 期	8		中間試験10月7日(水)～9日(金) <範囲・到達目標> ・「現代的なリズムのダンス」のグループ創作
	9	・「現代的なリズムのダンス」のグループ創作 ・からだほぐしの運動	<学習ポイント> ・フォークダンスの由来を知り、集団や個人で表現したり交流する楽しさを味わう。 ・創作活動を通して、互いのよさを認め合い、練習したり、発表することにより、ダンスの楽しさや、喜びを味わう。
	10		期末試験12月7日(月)～9日(水) <範囲・到達目標> ・「感じを込めて踊る」グループ創作
	11	・「感じを込めて踊る」グループ創作	<学習ポイント> ・気持ちを込めて踊ることができるようにする。 ・表現力を養う。
	12	・フォークダンス ・作品作りを発表、鑑賞、評価	

学期	月	授業計画	到達目標(定期試験範囲)
3 学 期	1	・空間構成 ・創作ダンス作品を作る	学年末試験 3年:1月27日(水)～29日(金) 1・2年:3月3日(水)～5日(金) <範囲・到達目標> ・「創作ダンス」グループ創作 <学習ポイント> ・創作した作品を発表、鑑賞し合い、 評価する。
	2		
	3	・作品作りを発表、鑑賞、評価 ・創作ダンス作品のビデオ鑑賞	

学習上のアドバイス

・みんなの前で踊ったり、手をつないだりすることに抵抗があるかもしれませんが、伸び伸びと大きく踊れるようにしましょう。
 ・グループ活動では、協力し、自主的に動けるようにしましょう。

移動・・・集合時間や授業終了後、次時へ影響が出ないように、時間厳守の行動を心掛けましょう。

服装・・・学校指定の体育着を正しく着用しましょう。

見学・・・病気やけが等で授業を見学する場合は、授業が始まる前に担当者へ届を提出し、許可を得ておきましょう。

評価の観点および方法

授業への参加態度や意欲、実技テスト等の総合評価をし、体育の評価に組み入れます。

・自己の能力に応じた課題をもって行い、感じを込めて表現することができるか。
 ・互いの良さを認め合い、協力して練習や、課題学習に臨んでいるか。
 ・計画的な練習の仕方や、発表の仕方を工夫することができるか。

推薦参考書・問題集等

履修学年	2年	履修コース	全コース	履修条件	必修選択	単位数	2
教科	芸術			科目	音楽		
教科書 副教材	『MOUSA1』（教育芸術社）						

学期	月	授業計画	到達目標（定期試験範囲）
1 学期	4	歌唱 ・校歌 ・27頁《少年時代》 ・13頁《翼をください》	中間試験 5月26日（火）～28日（木） <範囲・到達目標>
	5	西洋音楽史 ・132頁「古代ギリシャの音楽」 ・132頁「中世の音楽」 ・132頁「ルネサンスの音楽」	
	6	鑑賞 ・「古代ギリシャの音楽」：リラ、キタラ、アウロスの音色など ・「中世の音楽」：グレゴリオ聖歌、オルガナム、レオナン、ペロタン、マショーの作品、トルバドゥールやミンネゼンガーなどの世俗音楽 ・「ルネサンスの音楽」：ジョスカン・デ・プレ、ダウランド、パレストリーナの作品	期末試験 7月1日（水）～3日（金） <範囲・到達目標> 歌唱試験：《校歌》《少年時代》 筆記試験：西洋音楽史、鑑賞、音楽理論、世界の諸民族の音楽
	7	音楽理論 ・149頁「音部記号」 ・149頁「音名」 ・149頁「音階」 ・149頁「音符と休符」 世界の諸民族の音楽（東アジア） ・127頁「朝鮮半島の音楽」 ・128頁「中国の音楽」	<学習のポイント> ・基本的な西洋音楽の発声の仕方を学ぶ ・西洋音楽の発生～成立過程について学ぶ ・基本的な音楽理論を学ぶ ・東アジアの民族音楽について学ぶ
2 学期	8	歌唱 ・36頁《Caro mio ben》 ・40頁《Heidenröslein》	中間試験 10月7日（水）～9（金） <範囲・到達目標>
	9	西洋音楽史 ・133頁「バロック時代」 ・133頁「古典派の音楽」 ・133頁「ロマン派の音楽」 ・142頁「オーケストラについて」	
	10	鑑賞 ・136頁 J.S.バッハ《管弦楽組曲第2番》 ・136頁 ヘンデル《水上の音楽》 ・137頁 モーツァルト《交響曲第40番》 ・137頁 ベートーヴェン《ヴァイオリン・ソナタ第5番》 ・138頁 ショパン《12の練習曲》より「革命」 ・139頁 ドヴォルジャーク《交響曲第9番》	<学習のポイント> ・イタリア歌曲、ドイツ歌曲を学ぶ ・西洋音楽が発展していった過程について学ぶ ・基本的な音楽理論を学ぶ ・東南アジア、南アジアの民族音楽について学ぶ
	11	・52頁「ロック音楽」 ・94頁「ジャズ」 音楽理論 ・149頁「拍子」	期末試験 12月7日（月）～9日（水） <範囲・到達目標> 歌唱試験：《Caro mio ben》《Heidenröslein》 筆記試験：西洋音楽史、鑑賞、音楽理論、世界の諸民族の音楽
12	世界の諸民族の音楽（東南アジア・南アジア） ・129頁「インドネシアの音楽」 ・130頁「インドの音楽」	<学習のポイント> ・イタリア歌曲、ドイツ歌曲を学ぶ ・西洋音楽が発展していった過程について学ぶ ・基本的な音楽理論を学ぶ ・東南アジア、南アジアの民族音楽について学ぶ	

学期	月	授業計画	到達目標（定期試験範囲）
3 学 期	1	歌唱 ・ 80頁《この道》 ・ 12頁《花》 西洋音楽史 ・ 134頁「20世紀の音楽」	学年末試験 3年：1月27日（水）～29（金） 1・2年：3月3日（水）～5日（金） <範囲・到達目標> 歌唱試験：《この道》 筆記試験：西洋音楽史、鑑賞、世界の諸民族の音楽 <学習のポイント> ・ 日本歌曲を学ぶ ・ 20世紀という西洋古典音楽の伝統が崩壊し、表現や音楽語法が多様化した時代について学ぶ ・ 西アジアの民族音楽について学ぶ
	2	鑑賞 ・ 140頁 ドビュッシー《前奏曲第1巻》より「沈める寺」 ・ 140頁 ラヴェル《ボレロ》 ・ 141頁 武満徹《弦楽のためのレクイエム》 ・ 141頁 ライヒ《砂漠の音楽》	
	3	世界の諸民族の音楽（西アジア） ・ 131頁「イランの音楽」 ・ 131頁「トルコの音楽」	

学習上のアドバイス	
<p>「歌う」「奏でる」という行為は単に身体を作動させることだけではない。音楽活動とは非常に知的な作業である。音符や休符の長さ、拍子、リズム、音名などを理解し、それを音にする。さらに強弱や曲想などをつけて表現する。これらは音楽的知識がなければできない。音楽体験を豊かにするために知識は邪魔にならない。むしろある知的前提を踏まえるや、音楽の感じ方は一変する。授業で説明する音楽用語や理論事項を理解して音楽表現を行ってほしい。</p> <p>また、しっかりとした声を出すには地道な基礎練習が必要である。授業毎の発声練習をきちんと行うこと。音楽理論でも練習問題を繰り返し解かなくては身につかない。地道な作業が音楽的能力をあげることにつながる。授業中は真剣に取り組み、意欲的に活動すること。</p>	
評価の観点および方法	
1. 定期試験 2. 授業態度 3. 提出物 4. 遅刻・欠課等の勤怠状況	
推薦参考書・問題集等	
・ プリントを適宜配布する。	

履修学年	2年	履修コース	全コース	履修条件	必修選択	単位数	2
教科	芸術			科目	美術		
教科書 副教材	美・創造へ 1						

学期	月	授業計画	授業内容・到達目標・試験範囲
1 学期	4	オリエンテーション 石膏デッサン(頭像)	石膏デッサン(4月～5月) <内容・到達目標> ギリシャ時代の彫刻(レプリカ)を用いて立体を平面に置き換える。 <学習のポイント> 平面上に立体感をどのように捉えるか。 明暗(陰影)表現について学ぶ。 像の特徴を捉える。
	5	鑑賞 風景写生 自画像制作	自画像制作(5月～7月) <内容・到達目標> 表面的でなく自分自身の内面表現を意識する。 <学習のポイント> 自分自身を良く見つめる。
	6		
	7	試験 鑑賞	1学期試験 6月吉日 <範囲・到達目標> 石膏デッサン・自画像・その他 <学習のポイント> 授業内容を中心に教科書からも出題
2 学期	8		色彩、造形理論 8月末 <内容・到達目標> 色彩や形の特性を知る。 <学習のポイント> 美の要素 配色理論
	9	色彩理論 造形理論 デザインについて レタリング	
	10	鑑賞 ポスター制作	ポスター制作(9月～10月) <内容・到達目標> 校内展示をおこなう。 啓発をおこなう。 <学習のポイント> 表現者の視点を持つ。
	11	テスト 鑑賞	彫像・塑像制作(11月～12月) <内容・到達目標> 量感表現、ムーブマンの表現 <学習のポイント> 素材になれる。
12	彫塑について 塑像制作 彫像制作	2学期試験(11月吉日) <範囲・到達目標> 色彩・造形理論、レタリング、ポスター、その他 <学習のポイント> 理論と実技とのかかわりを考える。	

学期	月	授業計画	到達目標(定期試験範囲)
3 学 期	1	版画について 銅版画制作	版画(銅版画)制作(1月～3月) <内容・到達目標> 版画の特性を知る 版制作を行う <学習のポイント> 間接表現について理解する。 製版・印刷技術の習得。
	2	3学期試験 美術史	3学期試験 <範囲・到達目標> 彫塑、版画、その他
	3	人物クロッキー	<内容・到達目標> 短時間で人物の特徴をつかむ。 <学習のポイント> プロポーション・ムーブマンを捉える

学習上のアドバイス

1学期におこなわれる絵画については、観察を中心に(見方・考え方・描き方の観点から)指導をおこないます。
2学期におこなうデザインに関しては、表現を中心に(理論、考え方、描き方)指導をおこないます。
又、彫塑においては、立体制作を通してボリューム(量感)の表現の指導を行います。
3学期におこなわれる版画については、版の特性を理解して、製版・印刷の指導をおこないます。

評価の観点および方法

授業の課題における特性の理解や取り組む姿勢や意欲・態度を基本に完成作品とテストで評価をおこなう。
理解・進捗状況を記録表を用いて確認し、観点別指導・評価をおこなう。
良い作品については、校内展示を行い啓発をおこなう。

用具・材料等

筆記用具(鉛筆2Bなど)、消し具、スケッチブック、ポスターカラーまたは、アクリル絵の具ガッシュ、配色用筆、
カッターナイフ、彫刻刀、鏡(自画像にて使用)